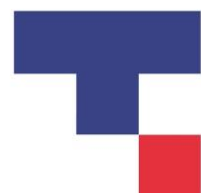




# Start Guide

Ver.5.0.0



TOKYO GAS

## 商標について

本書に記載しているすべての会社名、製品名及び商標は、それぞれの所有者に属します。

### 【ご注意】

本ソフトウェアの仕様・マニュアルは、予告無く変更することがあります。

本ソフトウェア及びマニュアルの著作権は、東京ガス株式会社にあります。

許可無く本マニュアルの一部あるいは全てを複製することは禁じられています。

本ソフトウェアとマニュアルを運用した結果については、東京ガスは、一切の責任を負いかねますので、  
ご了承下さい。

## 目次

1. はじめに.....	5
1.1. 利用上のお願い.....	5
1.2. 本マニュアルの使い方.....	6
2. 概要.....	7
2.1. 動作環境.....	7
2.2. システム構成.....	8
2.3. システム構築の流れ.....	10
2.4. 基本用語.....	11
3. インストール と環境設定.....	12
3.1. 実行に必要なツール.....	12
4. 構築するシステム.....	13
5. Excel 作成.....	14
5.1. 作業フォルダの作成.....	15
5.2. スタートメニューの設定.....	16
5.3. Excel アシスタントの起動.....	17
5.4. 入力項目設定.....	18
5.5. 参照項目設定.....	19
5.6. 入力の権限設定.....	20
5.7. 入力規則を持たせた設定.....	21
5.8. ワークフローの設定.....	22
6. プロジェクト作成.....	24
6.1. プロジェクトに Excel を登録する.....	25
6.2. メニューの設定を行う.....	26
7. プロジェクト参照.....	27
7.1. マスターフォルダの作成.....	28
7.2. ユーザー登録.....	29
7.3. プロジェクトの登録.....	30
7.4. サーバーの起動.....	30
7.5. ビューアーの実行.....	31
8. 入力データの確認.....	33
8.1. Excel/CSV ファイル形式として保存.....	36
9. Excel/PDF ファイルへの保存.....	38
9.1. Excel/PDF ファイルへの出力方法.....	41

10.	帳票出力と表示.....	43
10.1.	帳票出力の準備.....	43
10.2.	帳票アシスタントの設定 .....	44
10.3.	プロジェクトでの PDF 出力設定 .....	46
10.4.	ビューアーでの表示確認 .....	49
11.	ダッシュボード設定 .....	50
11.1.	Excel 作成 .....	50
11.2.	ビューアーでの表示.....	52
12.	追加ビューの設定と表示.....	56
12.1.	表示用の DBCOL 設定.....	56
12.2.	GRID 設定.....	58
12.3.	MAP 設定 .....	59
12.4.	プロジェクトの更新と表示.....	60
13.	外部システム連携.....	64

# 1. はじめに

## 1.1. 利用上のお願い

本マニュアルにおける凡例は下記のとおりです。



禁止

JoyCoMES Re を使うにあたっての禁止事項を示します



注意

JoyCoMES Re を使うにあたっての注意事項を示します



ヒント

JoyCoMES Re を使うにあたってのヒントを示します



ヘルプ

JoyCoMES Re を使うにあたってのヘルプを示します

## 1.2. 本マニュアルの使い方

本マニュアルは、JoyCoMES Re をご使用いただくにあたって、各機能の簡易的な手順を記載したものです。

このマニュアルで行う設定に関しては、下記を前提としておりますので、ご留意願います。

- 全機能のインストールが行われていること
- ライセンスの登録が行われていること

## 2. 概要

JoyCoMES Re は、お客様がお使いの Excel 帳票を簡単な設定で、そのまま電子帳票にするための製品です。

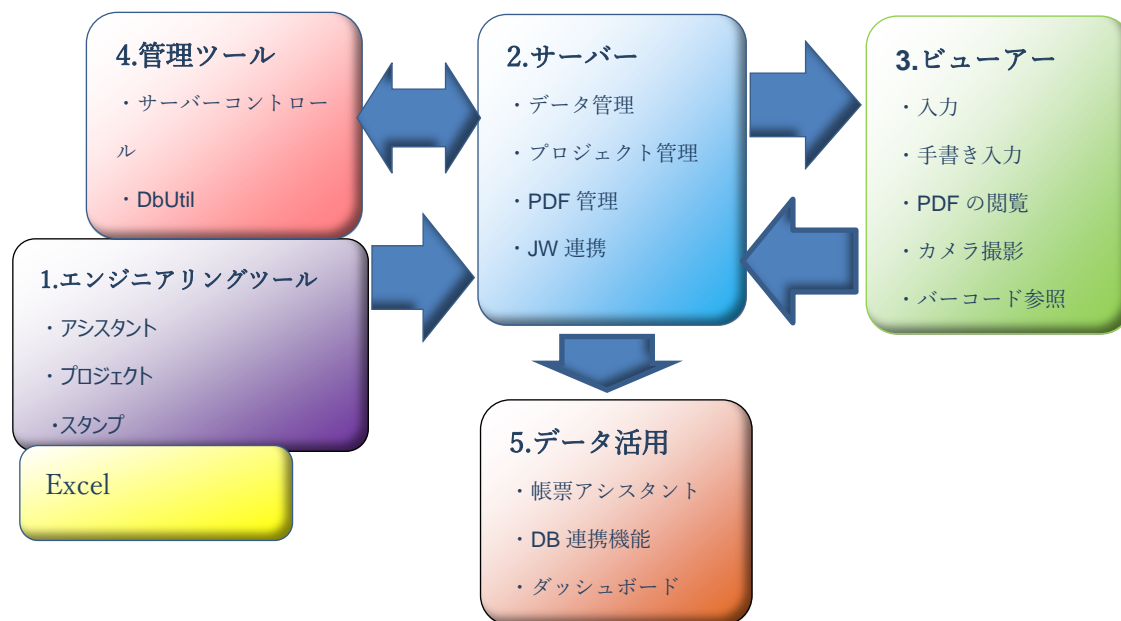
製品の主な特徴は以下のとおりです。

- Excel の帳票をそのまま利用
  - 使い慣れた Excel の帳票をそのまま扱うことが可能です。あらかじめ設定されていた条件付き書式や関数、入力規則も Excel 同様に動作します。
  - 内容の変更も、プログラミングレスで簡単に実行できます。
- サーバー・クライアント構成
  - Windows 上で動作するサーバー部と、各種プラットフォームで動作するビューアー部から構成されます。
- ネイティブアプリ
  - Web アプリに比べて高速で動作し、スムーズな操作を実現します。
- Windows PC、Android 端末、iPad、iPhone に対応
  - 多様なデバイスに対応しており、様々な用途での使用が可能です。
- PDF 管理機能
  - サーバーに置いた PDF にどこからでもアクセス可能です。これにより大量の資料を持ち運ぶ必要がなくなります。
- オフラインモード対応
  - オフラインモードを使用することにより、サーバーに接続できない環境でも使用できます。オンラインで入力したデータは、一旦デバイス本体に保存されますので、後でまとめてサーバーへアップロードを行うことが可能です。

### 2.1. 動作環境

サーバー、 各種設定ツール	Windows10 / 11 Windows Server2012 / 2016 / 2019 / 2022
クライアント (ビューアーアプリ)	Windows10 / 11 Windows Server2012 / 2016 / 2019 / 2022 iPhone、iPad iOS 12 以降 Android Android 7 以降
Excel	Excel 2010 以降(Excel アドインアシスタント動作は Excel2016 以降) Excel の 300 以上の関数をサポートします。

## 2.2. システム構成



### 1.エンジニアリングツール

#### ・アシスタント

Excel で入力フォームの作成を行う機能です。

詳細は、別紙『JoyCoMES Re Assist.pdf』、別紙『JoyCoMES Re ExcelAddinAssist.pdf』を参照ください。

ExcelAddinAssist は、Excel のアドインに JoyCoMESRe をインストールして、Excel だけで入力フォームの作成が行えるようになります。

#### ・プロジェクト

アシスタントで作成した入力フォームを使用し、公開するプロジェクトの作成を行う機能です。

詳細は、別紙『JoyCoMES Re Project.pdf』を参照ください。

#### ・スタンプ

権限単位で利用できるスタンプを自作する機能です。

詳細は、別紙『JoyCoMESRe Stamp.pdf』を参照ください。

### 2.サーバー

データの管理、プロジェクトの保持、配布等を行う機能です。

プロジェクト、データ、PDF 文書等の一元管理を行います。

また、JoyWatcher タグと連携し、現場のデータの参照も可能です。

JoyWatcher タグ連携については、別紙『JoyCoMES Re JWSPProxy.pdf』を参照ください。

### 3.ビューアー

サーバーに保持されているプロジェクトを参照し、現場でのデータ入力、および PDF の参照等を行う機能です。

Windows, iPad, iPhone, Android でネイティブアプリとして動作します。



#### 4.管理ツール

詳細は、別紙『JoyCoMES Re Viewer.pdf』を参照下さい。

- ・サーバーコントロール

サーバーの起動、停止、およびユーザーの管理等を行う機能です。

詳細は別紙『JoyCoMES Re SrvCtrl.pdf』を参照ください。

- ・DBUtil

DB に保存されたデータの確認、および外部保存を行う機能です。

詳細は、別紙『JoyCoMES Re DbUtil.pdf』を参照下さい。

#### 5.データ活用

入力されたデータを活用するための機能です。

- ・帳票アシスタント

日報等の印刷を行います。JoyCoMES Re に入力されたデータを一覧形式で印刷することや、CSV 保存することが可能です。

詳細は、別紙『JoyCoMES Re JWRepAst.pdf』を参照下さい。

- ・DB 連携機能

Oracle、SQLServer 等データベースに JoyCoMES Re で入力されたデータを保存することが可能です。

詳細は、別紙『JoyCoMES Re DbLink.pdf』を参照下さい。

- ・FileLink 機能

タブレットから入力がある都度、変更データと このツールで設定した Excel（雛形）とを組み合わせ、新規のファイルとして、Excel/PDF 形式で保存します。

この機能を使用することにより、入力されたデータを ファイルとしてサーバーに保存し、ペーパーレス化を進めることが可能です。

詳細は、別紙『JoyCoMES Re FileLink.pdf』を参照下さい

- ・ダッシュボード

Re で保存されたデータや ODBC DB に保存されているデータを、ビューア上でリアルタイムに表示することが可能です。

この機能によって、保存したデータのリアルタイムでのグラフ化や過去データ一覧の参照等、保存したデータの活用を行うことが可能です。

詳細は、別紙『JoyDashAssist.pdf』を参照ください。

## 2.3. システム構築の流れ

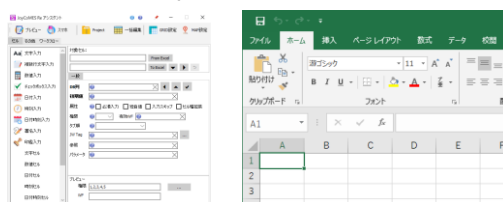
本項では、JoyCoMES Re で入力フォームを作成し、ビューアーで表示するまでの基本的な流れを説明します。

### 1. Excel、PDF を準備

入力に使用する Excel や、表示したい PDF を準備してください。

### 2. Excel に JoyCoMES Re が必要な情報を書き込む

アシスタントを使用し必要な情報を登録してください。



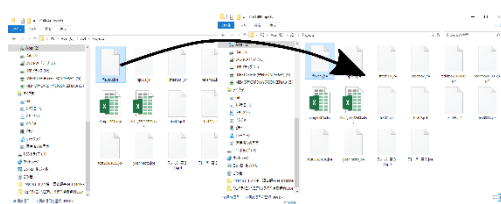
### 3. プロジェクトにまとめる

出来上がった Excel と、必要な PDF を 1 つのファイルにまとめ、画面で表示させるメニューを作成します。



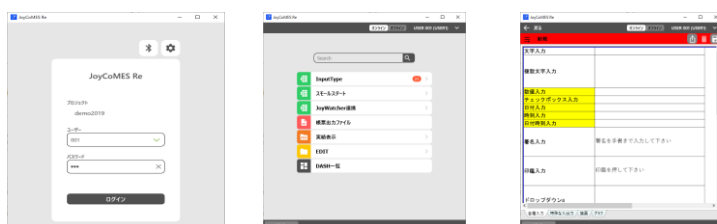
### 4. プロジェクトファイルをサーバーにアップロード

作成したプロジェクトを、サーバーのプロジェクトフォルダにコピーします。



### 5. 実行

ビューアーを使用し、サーバーに登録したプロジェクトを表示します。



## 2.4. 基本用語

本項では、JoyCoMES Re で使用する基本的な用語について説明します。

ワークフロー	業務内で、担当者が起票したものを上司が承認して次の工程に進むといった一連の流れをワークフローといいます。JoyCoMES Re では、個々の Excel ごとにワークフローの定義を行います。
権限	セルの設定時に、入力するために必要な権限を 1 つ登録できます。 それに対して、ユーザーは、1 から 99 までの権限を持つことが可能です。 複数登録することも可能なので、ユーザー単位で、必要な権限を付与させてください。
DBIdentifier DBCOL	JoyCoMES Re では、入力に使用する Excel ごとに DBIdentifier で指定したテーブルあるいは Excel ファイル名と、セルに定義した DBCOL の 2 つをキーとして入力データを管理します。
オンラインモード オフラインモード	JoyCoMES Re は、基本的にネットワークと接続された状態で使用します。 ただ、ネットワークと接続できない場所で作業する場合には、オフラインモードに切り替えることで、登録したデータはビューアー本体に保存されます。 ビューアーに保存されたデータは、ネットワークに接続できる場所に移動後、まとめてサーバーへアップロードすることが可能です。
追記モード	複数のユーザーが、同じ Excel を使って共同作業を行うために使用します。 通常の場合、入力後のデータは、編集した部分のみではなく、すべてのデータが上書きされます。 一方、追記モードでは、編集した部分のみ保存するため、複数の変更がそれぞれ登録されたタイミングで反映することができます。

## 3. インストール と環境設定

### 3.1. 実行に必要なツール

本紙の手順で JoyCoMES Re をお使いいただくのに必要なツールは以下の通りです。

- エンジニアリングツール
  - JC4Assist.exe or Excel アドインアシスタント
    - ◇ Excel 設定用のアシスタントツールです
  - JC4Proj.exe
    - ◇ プロジェクト ファイルを作成するためのツールです
  - 帳票アシスタント JoyCoMES Re 版
    - ◇ JoyCoMES Re で設定した内容を Excel、PDF 等に出力します。
  - JoyDashAssist.exe
    - ◇ JoyCoMES Re で設定した内容をビューアーで表示するための画面を作成するツールです。
- サーバーツール
  - jc4serv.exe
    - ◇ サーバーの本体です。
  - JC4SrvCtrl.exe
    - ◇ サーバーの起動、ユーザーの設定、プロジェクト ファイルや PDF ファイルの保管場所の管理等を行います。
- Windows ビューアー
  - JC4Viewer.exe
    - ◇ 設定したプロジェクトを参照するためのビューアーです。



各プログラムの詳細は、個別のマニュアルを参照ください。

## 4. 構築するシステム

本紙では、JoyCoMES Re における基本的なシステム構築の流れを、以下のとおり説明します。

### ● Excel アドインアシスタントでの作業

- Excel
  - Excel を準備する
  - Excel に対してセルごとに入力設定を行う
    - ✧ 各種入力の設定
      - ◆ 文字、数値、日付 等
    - ✧ 入力規則による 入力の設定 など
  - シートの表示範囲を 印刷範囲として設定する
- 動作テスト
  - プレビューを使用して、動作を確認する
- ワークフローの設定
  - ワークフローの流れを設定し、Excel に登録する

### ● プロジェクトでの作業

- プロジェクト作成
  - ✧ プロジェクトに Excel を追加
  - ✧ メニューの作成

### ● サーバーでの作業

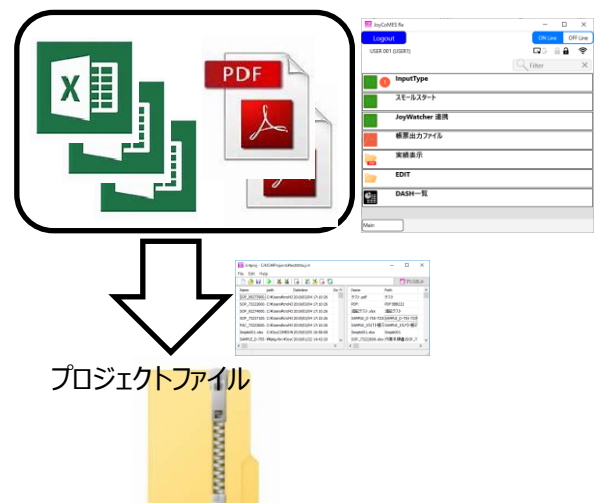
- ユーザーを作成
- プロジェクトをサーバーに登録
- サーバーを起動

### ● クライアントでの作業

- ビューアーを実行

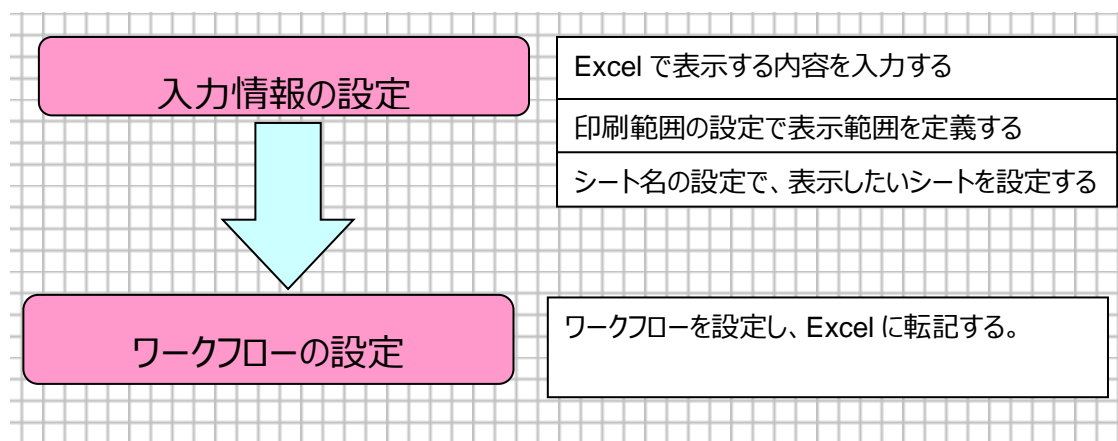
### ● データの活用

- 帳票アシスタントの設定と実行
- 保存した PDF ファイルの表示
- 保存したデータをビューアーで表示



## 5. Excel 作成

JoyCoMES Re に展開する基となる Excel を作成するにあたっての基本的な流れは以下のとおりです。



以下に、基本的なルールを記載します。

◆ 起動する Excel は 1 つだけ

編集する Excel は 1 つだけとしてください。

◆ 表示条件

テスト時に Excel ファイルを保存する必要はありません。

シート内で何らかの設定が行われているすべてのシートに対してプレビューを行います。

なお、表示したくないシートがある場合は、シート名の先頭に@を付けて、「@Sheet1」のようにしておいてください。

◆ 表示範囲

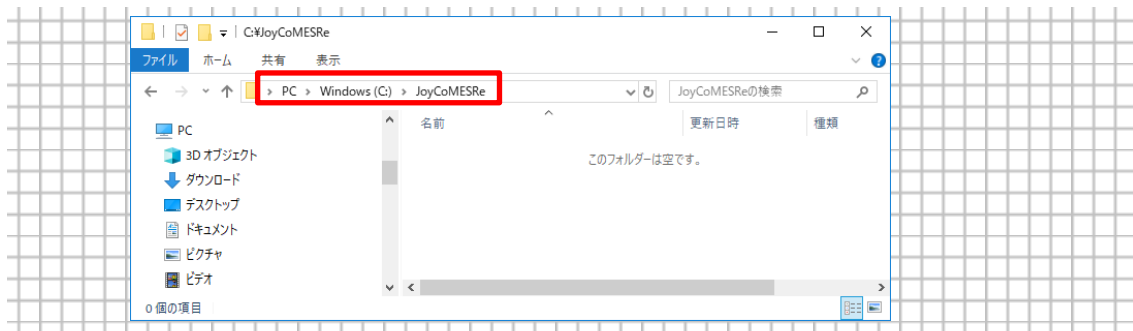
ビューアー画面には、シートで設定を行っている範囲が表示されます。したがって、表示範囲を指定する場合は、Excel で「印刷設定」を行ってください。指定した範囲が表示の対象になります。

◆ 権限

JoyCoMES Re では、入力項目の設定を権限で制限できます。権限は、設定時に 1 つの入力項目に対して 1 つ設定することが可能です。

## 5.1. 作業フォルダの作成

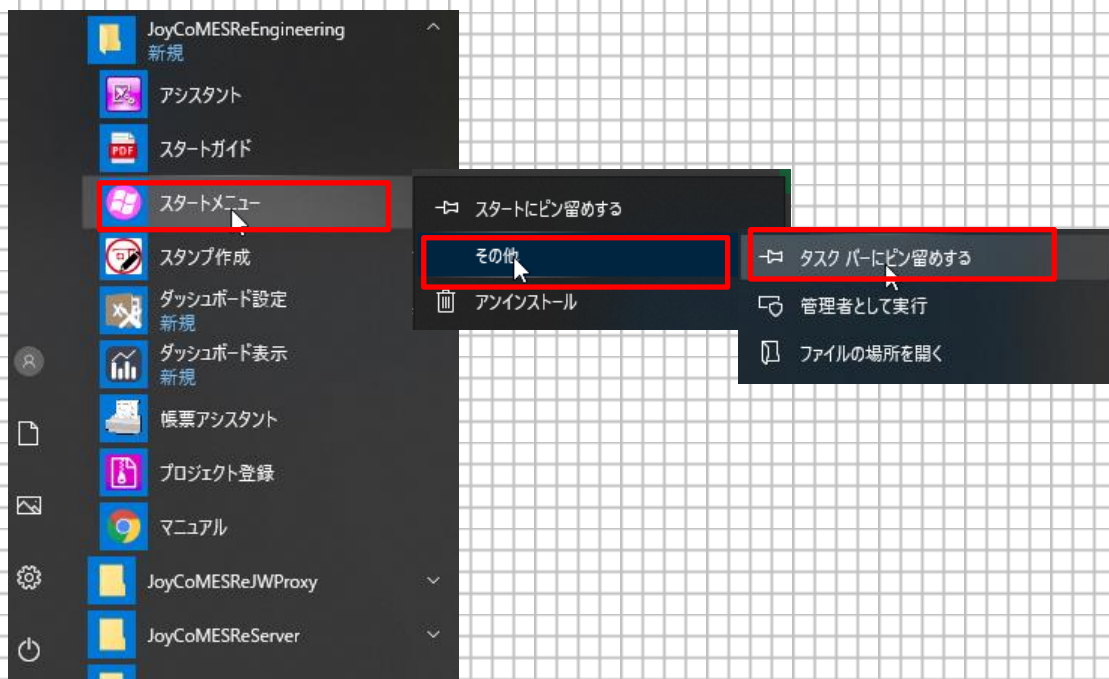
本紙では、各プログラムの定義ファイルを1つのフォルダに保存し作業を行います。初めに C ドライブ下で右クリック→新規作成からフォルダを作成し、名称を「**JoyCoMESRe**」としてください。



## 5.2. スタートメニューの設定

JoyCoMESRe では、各アプリケーションを“JoyCoMESRe スタートメニュー”から起動することができます。  
まずは、JoyCoMESRe スタートメニューの設定を行います。

**Windows スタートメニュー- JoyCoMESReEngineering-スタートメニュー**を右クリックし、  
その他-タスクバーにピン留めする を選択します。



タスクバーにスタートメニューのアイコンが表示されます。  
今後、プログラムの起動はタスクバーにある JoyCoMESRe スタートメニューから行います。

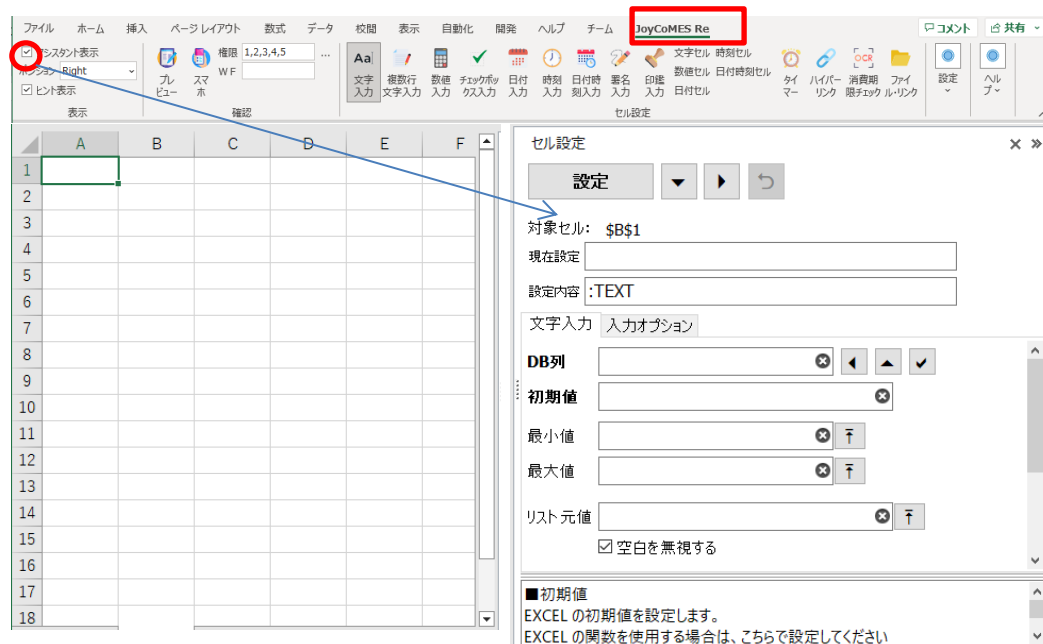




### 5.3. Excel アシスタントの起動

Excel を起動して、JoyCoMESRe タブを選択し、「アシスタント表示」を有効にしてください。

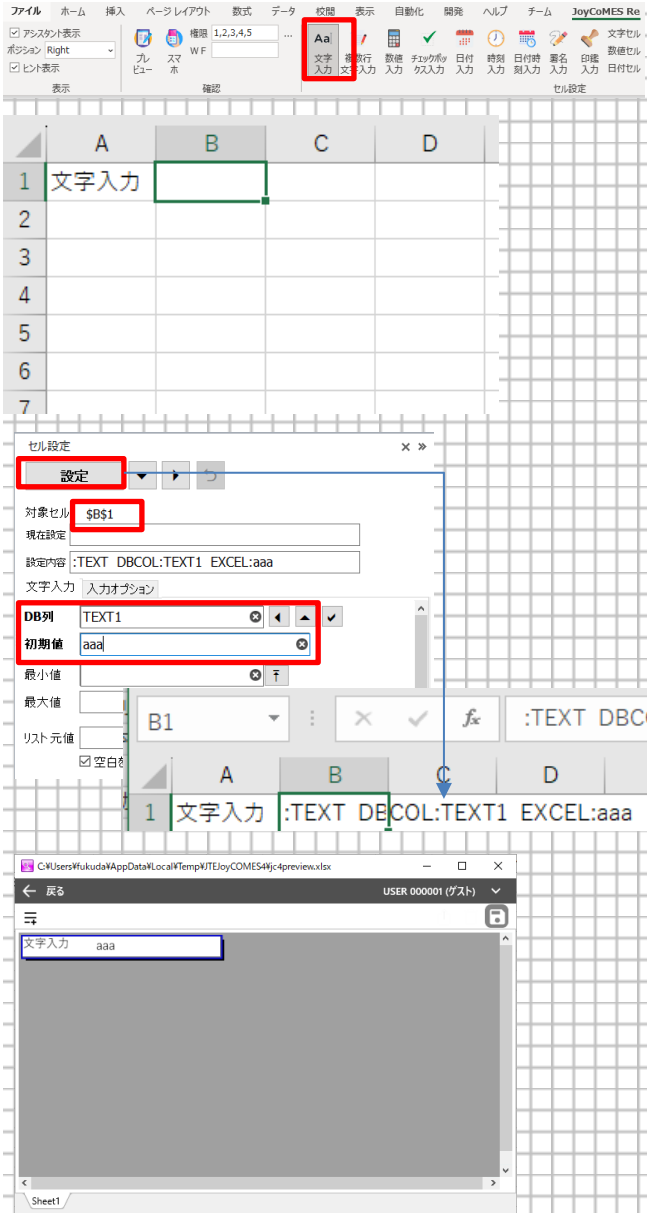
Excel のアドインから、JoyCoMESRe のコマンド設定を行うことが可能です。



## 5.4. 入力項目設定

Excel に入力項目を設定するときの基本的な手順は以下のとおりです。

例として、文字入力を権限なし、かつ初期状態で“aaa”と表示される設定を行います。



①任意のセルに「**文字入力**」と入力してください。

②入力した隣のセルを選択し、セル設定から「**文字入力**」を選択します。

③**DB 列**に任意の名前を設定します。  
ここでは「**TEXT1**」とします。

④**初期値**に「**aaa**」と設定します。

⑤「**設定**」をクリックすることで、対象セルに内容が反映されます。

以上で設定は終了です。

プレビューをクリックすると、初期表示で aaa が表示され、内容を書き換えることが可能になります。



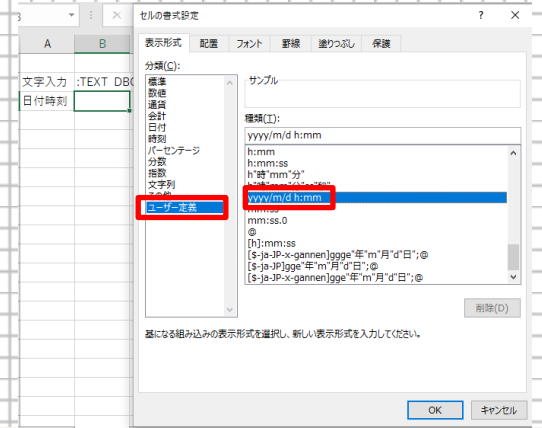
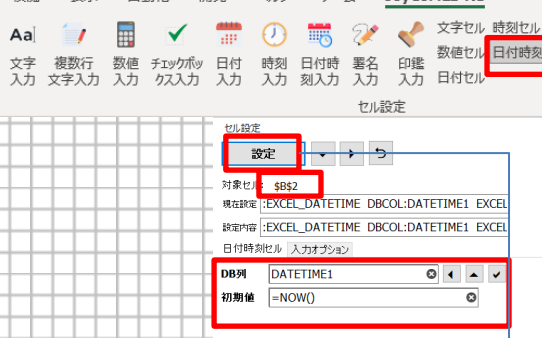

入力を設定したセルに初期値を入れた場合、初回参照時のみ有効となります。

DB 列は、セルのデータの名前です。内容が後で分かりやすい任意の文字列を設定するようにしてください。同じ Excel 内で重複した DB 列名が設定された場合には、添字をつけ異なる名前として扱われます。

例 TEXT1;1、TEXT1;2、TEXT1;3、…

## 5.5. 参照項目設定

本機能には入項目の設定において、参照のみを行い、ユーザーによる入力を行わない領域を作成したときに使用します。例として、実行時の日付時刻を表示させる設定を行います。

- ①文字入力セルの下セルに「日付時刻」と設定します。
- ②設定した隣のセルを選択し、セルの書式設定から日付が表示できる設定にします。  
※書式設定を変更しない場合、実数として表示されてしまいます。
- ③日付が表示できる設定にしたセルを選択し、アシスタントの入力方式から「日付時刻セル」を選択します。
- ④DB列に任意の名前を設定します。  
ここでは「DATETIME1」とします。
- ⑤初期値に「=NOW()」を設定して、現在時刻を取得するようにします。
- ⑥「設定」をクリックすることで、選択したセルに内容が反映されます。
- ⑦セルの横幅を広げてください。

プレビューを実行すると、現在時刻が表示されるようになります。  
※日時入力とは異なり、データのユーザーによる入力はいりません。



Excel の関数を使用する場合は、初期値に=を先頭につけて関数を指定するようにしてください。

## 5.6. 入力権限設定

本機能は、セル（領域）に対して書き込み制限をかけたいときに使用します。

例として、複数行入力に権限 1 を持つユーザーしか書き込みができない設定を行います。

① 日付時刻の下セルに「**複数行入力**」と設定し、隣のセルを縦に複数行選択して、「セルを結合して中央揃え」、「文字列を左に揃える」を設定します。

② 上記で複数行結合設定を行ったセルを選択し、セル設定から「**複数行入力**」を選択します。

③ 入力オプションで**権限**を「**1**」とします。

④ **DB 列**に任意の名前を設定します。ここでは「**MEMO1**」とします。  
※権限を 0 にした場合は誰でも入力可能です。


⑤ 「**設定**」をクリックすることで、選択したセルに内容が反映されます。

プレビューを実行する際、プレビューの権限設定画面で1にチェックを付けることで、1 の権限を持たせた状態で動作試験が行えます。  
今回の場合、1 のチェックを外してプレビューを行うとこのセルに対する入力ができなくなります。

## 5.7. 入力規則を持たせた設定

Excel の機能である、入力規則を使用することができます。

例として、数値書込みに対して、0～100 の間でしか入力できない設定を行います。



①複数行の下セルに「数値入力」と設定してください。

②隣のセルを選択し、セル設定から「数値入力」を選択します。

③DB 列に任意の名称を入れます。  
ここでは「NUM1」とします。

④入力規則の制限を行います。

最小値：0  
最大値：100  
エラーメッセージを表示：有効

⑥「設定」をクリックすることで、選択したセルに内容が反映されます。

以上で設定は終了です。

※最小、最大以外の条件を設定する場合は、入力規則をお使いください。

プレビュー実行時、0～100 の範囲外の値を書込むとダイアログが表示されます。

範囲外の値を入力したときダイアログに表示されるメッセージや、入力時のメッセージについても、アシスタントで同様に設定が可能です。

## 5.8. ワークフローの設定

ワークフローとは、「誰が作業を行い、承認し、完了させるのか」という業務の流れを指します。JoyCoMES Re では、作成した内容に対して、承認ルートの設定を Excel ごとに行うことができます。

本項では、ワークフローの簡単な設定例と大まかな流れを説明します。

以下に、基本的なルールを記載します。

- ◆ ワークフローは、「状態」と「その状態で行える作業」を設定します。
- ◆ 「状態」ごとに名称を変更し、独自の名称で呼ぶことができます。
- ◆ 承認については、段階を分けて状態を作成し、それぞれの状態で行える作業を設定します。

設定に当たっては、JoyCoMES Re アドインの、設定-ワークフローを表示させてください。

なお、JoyCoMESRe アドインのワークフローの設定方法については、別紙『JoyCoMES Re ExcelAddinAssist.pdf』を参照してください。

### 5.8.1. 簡単 WF の設定

ワークフロータブより、承認ルートなしのワークフローを設定します

ワークフロー

設定

簡単WF 承認付WF 追記型

CODE	NAME	ICON	TO	FIELD1
00(削除)	削除			
01(新規)	新規	1	99,0;	
99(完了)	完了			

WORKFLOW CODE

	A	B	C	D	E	F	G
1	CODE	NAME	ICON	TO	FIELD1	FIELD2	FIELD3
2	00	削除					
3	01	新規		1 99,0;			
4	99	完了					

①アドインの設定- ワークフローで、「簡単 WF」をクリックしてください。

表に設定が行われます。

②Sheet2 に切り替えて、「設定」をクリックすることで、Excel に設定が転記されます。

③シート名を「@Sheet2」に変更してください。

転記された Excel で WORKFLOW の範囲を確認できます。

JoyCoMES Re では、この指定された領域を使用してワークフローの管理を行います。

TO に入っている 99,0 の 99 は完了、0 は権限無しという意味になるため、99,0 は、完了を権限無しで行えるという設定になります。

④以上で設定は終了です。

ファイル名を「Test001.xlsx」として C:¥JoyCoMESRe フォルダに保存して下さい。

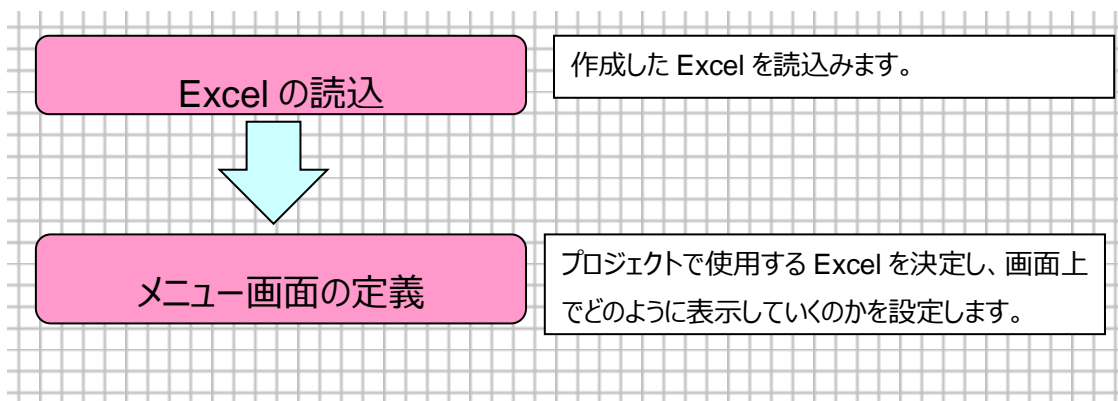


設定を行ったシート名の名前を@始まりにすることで、そのシートを実行画面の表示対象から除外できます。その場合でもシートは読み込まれていますので、セルから参照することは可能です。

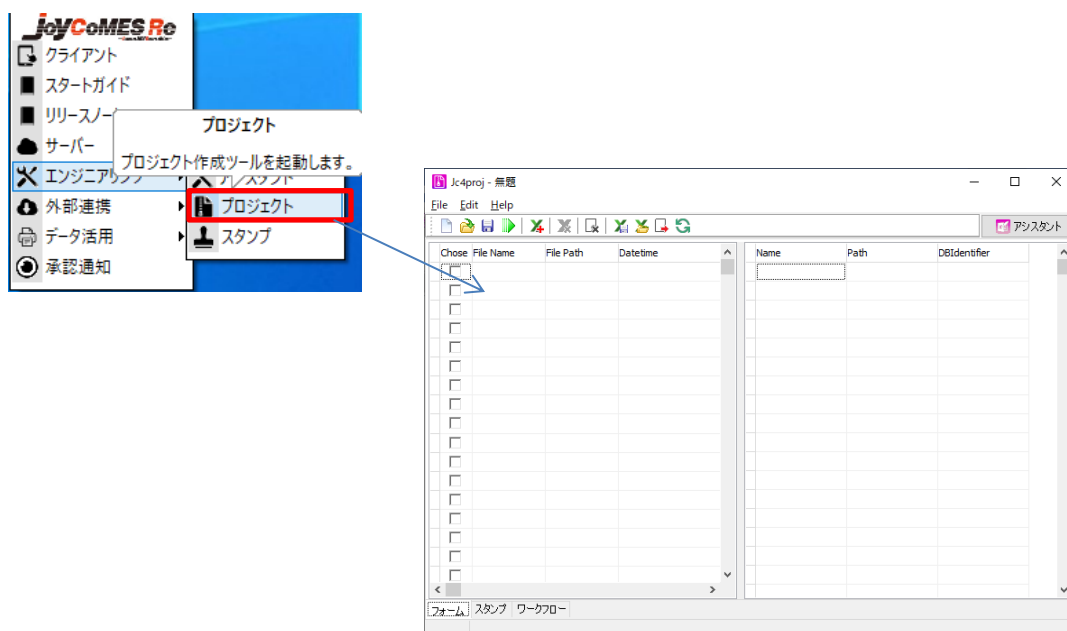
## 6. プロジェクト作成

作成した複数の Excel をまとめ、ビューアーでどのように表示するかと、入力したデータの保存先を設定します。

基本的な流れは以下のとおりです。



startmenu から、「エンジニアリング」-「Project」をクリックして、プロジェクト登録を起動します。

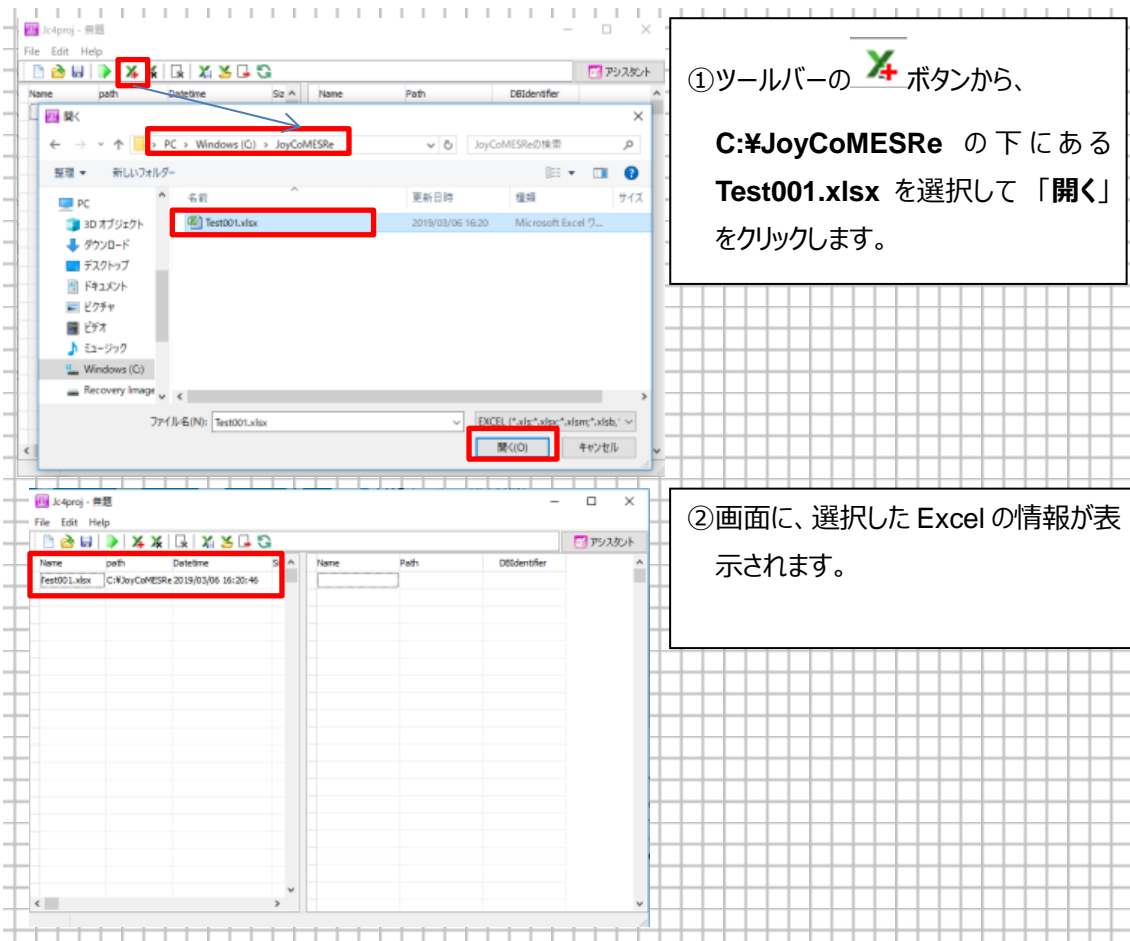




## 6.1. プロジェクトに Excel を登録する

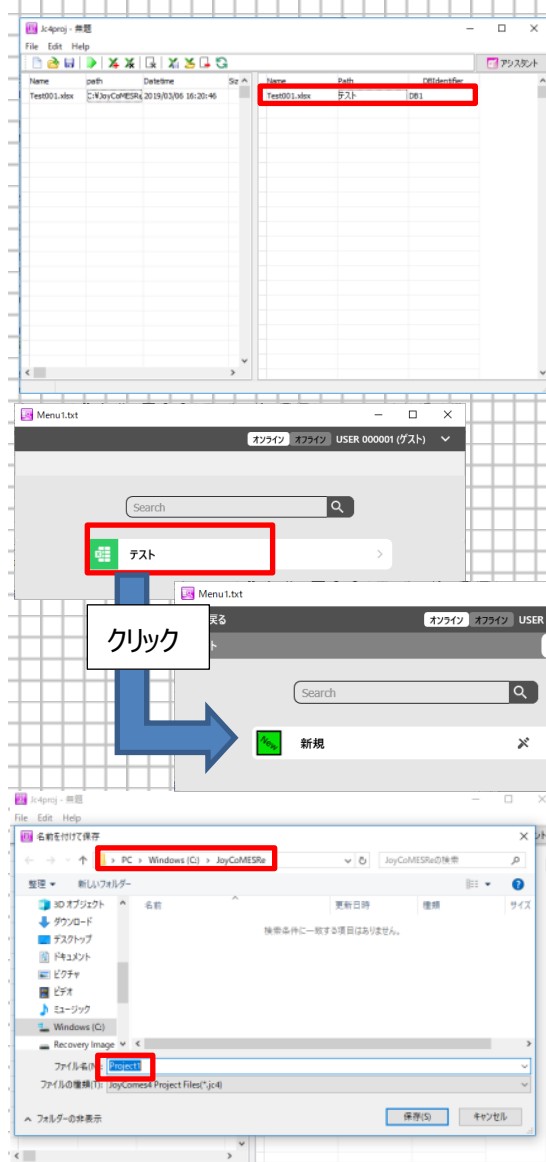
最初に、プロジェクトへ登録する Excel を読み込みます。

読み込み方法は、Excel ファイルを指定して読み込む方法と、直接ドラッグ&ドロップする方法があります。  
本紙では、Excel ファイルを指定して読み込む方法で設定します。



## 6.2. メニューの設定を行う


登録した Excel を右側に移し、メニュー画面に表示したい Excel、および保存先を設定します。



①表示したい Excel の行をダブルクリックすることで、右側に設定されます。

②Path に「テスト」、DBIdentifier に「DB1」と設定してください。

※Name は変更しないでください。  
DBIdentifier で設定した場所が、入力したデータの保存先になります。

③設定が完了したら、 をクリックすることで、プレビュー画面が表示されます。

ここでは、変更した Path の内容と、アシスタントで設定したワークフローを確認することが可能です。

④以上で設定は終了です。

**C:¥JoyCoMESRe** に「**Project1**」という名前で保存して、プロジェクト登録を終了させてください。




ヒント

Path は、メニュー表示内容を設定します。「AAA/BBB/ccc.xls」のようにすることで、階層表示を行うことも可能です。DBIdentifier は、変更した内容を保存する先を設定します。複数の Excel に対して同じ内容を設定することで、入力したデータを複数の帳票で使い回すことができるようになります。

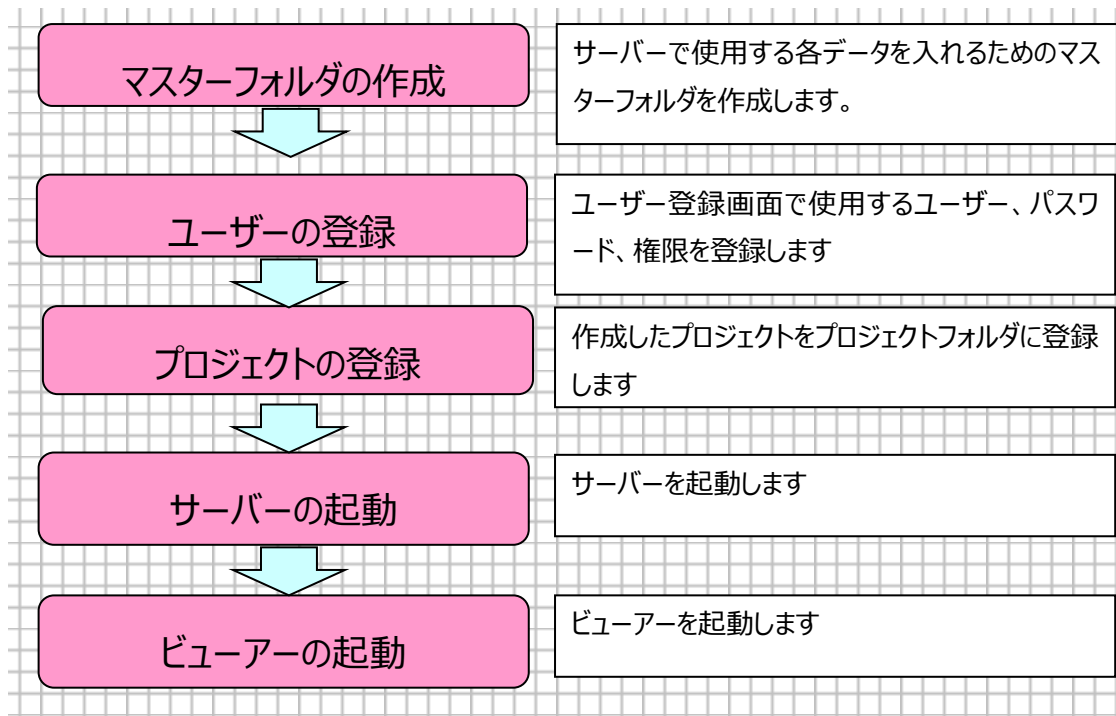


ヒント

メニューに登録したファイルの更新を行った場合は、" "でファイルを再取得してください。再取得時には、Datetime、Size の項目が更新されます。

## 7. プロジェクト参照

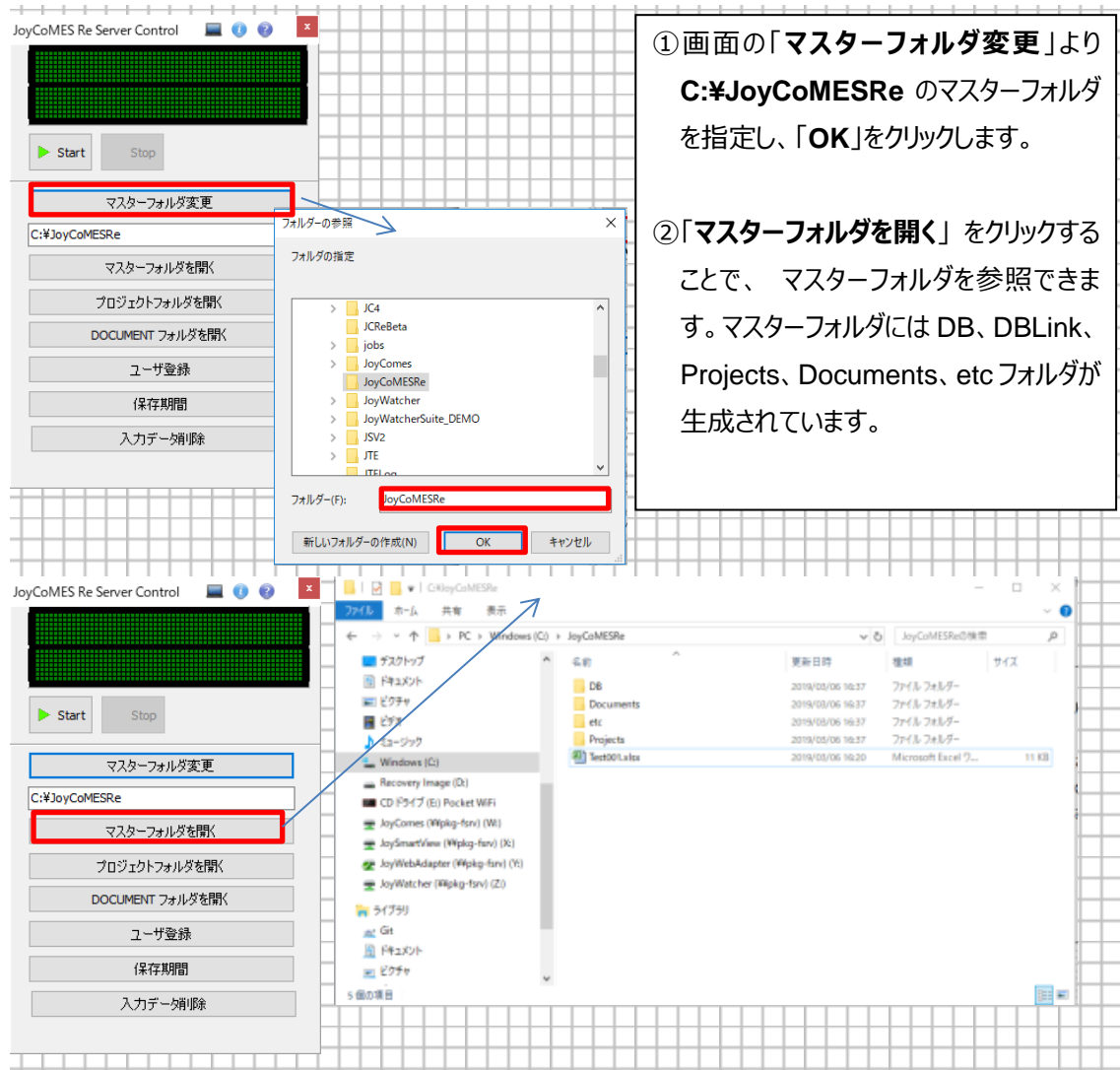
サーバーを実行し、ビューアーで参照するまでの基本的な流れは以下のとおりです。



## 7.1. マスターフォルダの作成

最初にマスターフォルダの作成を行います。

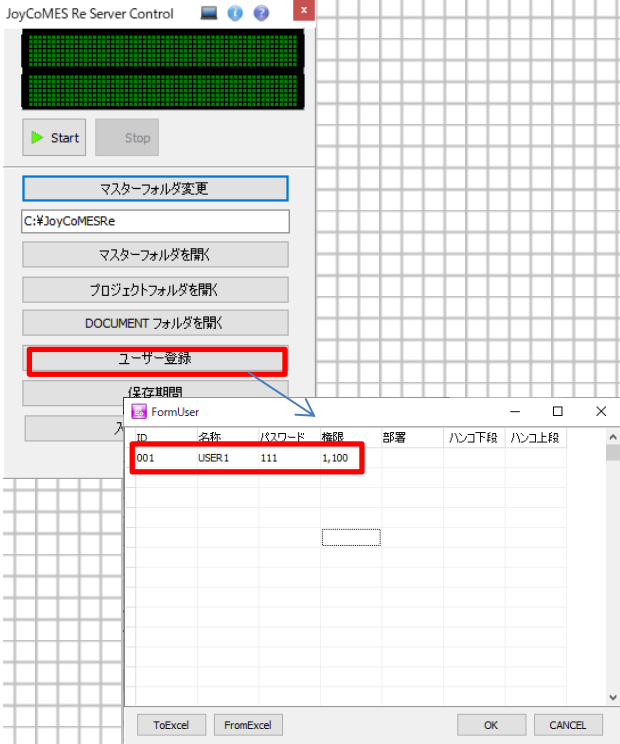
**JoyCoMESRe スタートメニュー-サーバー**からサーバーをクリックしてください。JoyCoMESRe Server Control が起動します。



## 7.2. ユーザー登録

ビューアーでログインして操作を行うためのユーザーを作成します。

ユーザーを登録する基本的な手順は以下のとおりです。



①etc フォルダが作成されている状態で「**ユーザー登録**」をクリックすることで、ユーザー設定画面が表示されます。

使用する ID、および名称、パスワードを設定して、OK をクリックしてください。

設定内容は以下のとおりです。

ID:**001**

名称:**USER1**

パスワード:**111**

権限:**1,100**

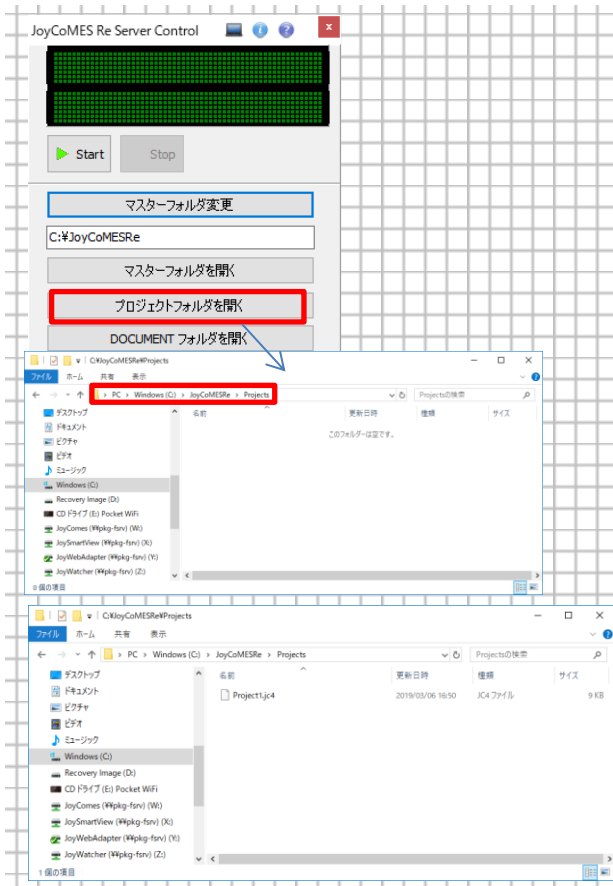
②「**OK**」をクリックすることで、etc フォルダ下に users というファイルが作成されます。



権限「100」を付与することで、Excel アドインアシスタントからプロジェクトの登録、編集を行うことが可能になります。

## 7.3. プロジェクトの登録

6 章で作成したプロジェクトを、サーバーに登録します。



The screenshot shows the JoyCoMES Re Server Control interface on the left and a Windows Explorer window on the right. The interface has buttons for 'Start', 'Stop', 'マスターフォルダ変更', 'マスターフォルダを開く', 'プロジェクトフォルダを開く' (highlighted with a red box), and 'DOCUMENT フォルダを開く'. The Windows Explorer window shows the path 'C:\JoyCoMESRe\Projects' with a file named 'Project1.jc4' listed.

① 画面から「プロジェクトフォルダを開く」をクリックし、マスターフォルダ下の Projects フォルダを開きます。

② C:\JoyCoMESRe に保存されている Project1.jc4 ファイルを手動で Projects フォルダにコピーしてください。

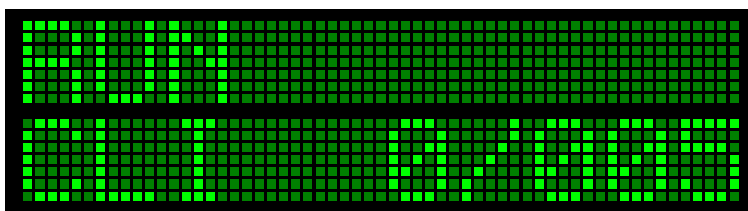
以上でプロジェクトの登録は終了です。

## 7.4. サーバーの起動

Start ボタンをクリックすることでサーバーが起動します。


サーバーが起動されると、マスターフォルダの DB 下に専用 DB ファイルが作成されます。

サーバー起動中は、ライセンス認証後であれば以下の様な画面になり、Start ボタンが押せなくなります。



## 7.5. ビューアーの実行

JoyCoMESRe スタートメニュー- クライアントを選択してください。ビューアーが起動します。

①  をクリックし、接続するサーバーとプロジェクトを設定します。

サーバー : **localhost**  
プロジェクト : **Project1**


設定したら、「**設定を反映する**」で設定画面を閉じます。


② ログイン画面に戻ったら、ユーザー、パスワードを設定します。

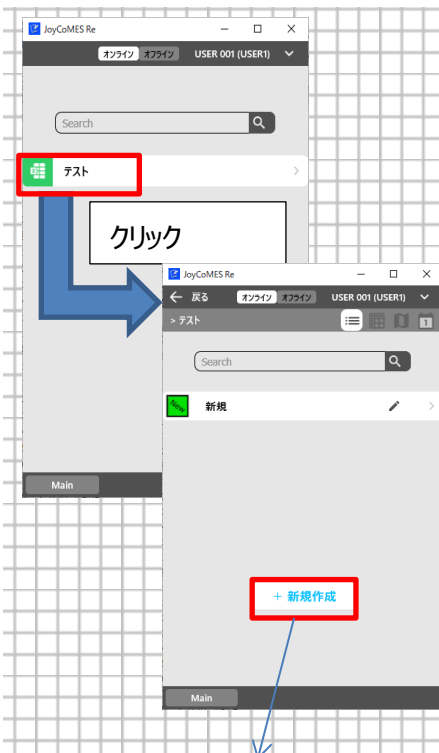
User : **001**  
Password : **111**

③ ログインをクリックして、ログインします。

④ ログインが行えると、作成したプロジェクトが表示されます。

 ヒント  
プロジェクトが表示された場合、サーバーコントロールの **CLI** が **001** になります。





⑤プロジェクトをクリックすると、WF 画面に遷移します。

⑥「新規作成」をクリックして編集画面を開き、各項目を設定後、左側の ≡ から完了アイコンをクリックして表示される確認ダイアログで「OK」をクリックしてください。

今回設定したワークフローでは承認を行わないため、完了することで設定は終了となります。

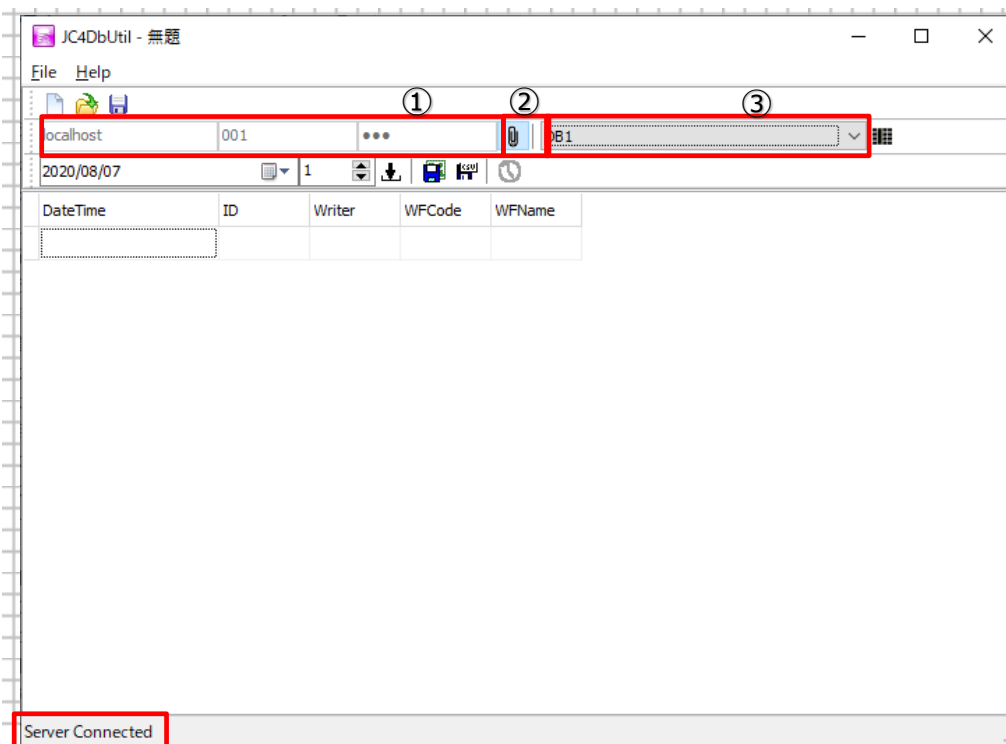


ビューアーを終了してください。



## 8. 入力データの確認

JoyCoMESRe スタートメニュー-データ活用-DBUtil を選択してください。JC4DbUtil が起動します。



① 作成したユーザーで接続する設定を入力します。

Server : **localhost**

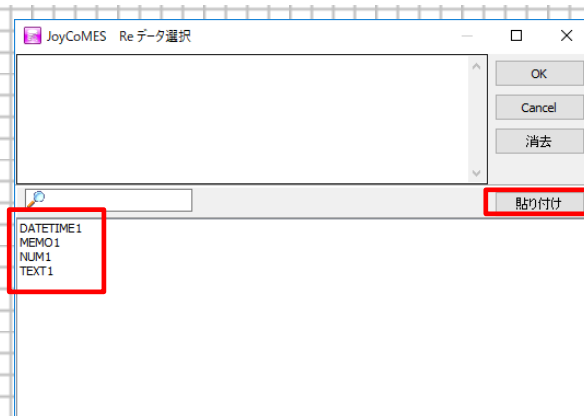
User : **001**

Password : **111**

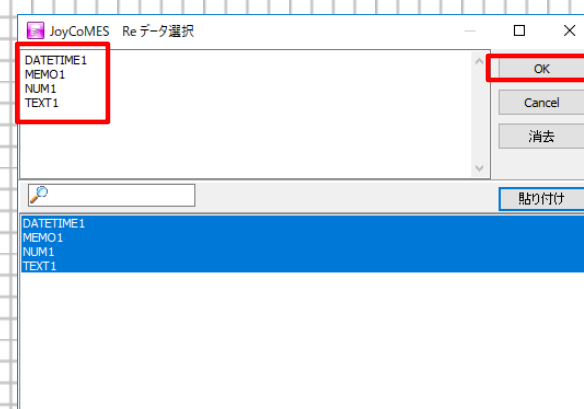
②「**サーバー接続/切断**」をクリックします。画面下部に「**Server connected**」と表示される事を確認してください。

③「**DB1**」が表示されるので右端の DB 列選択をクリックしてください。

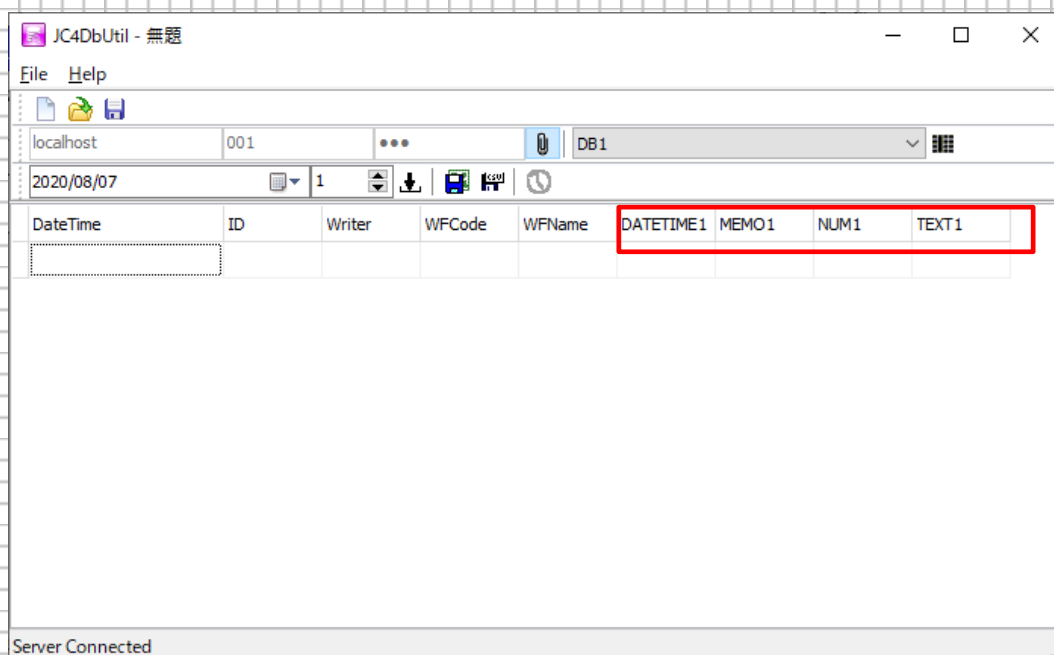
※DB1 は、プロジェクト作成のときに入力データの保存先に指定した場所です。



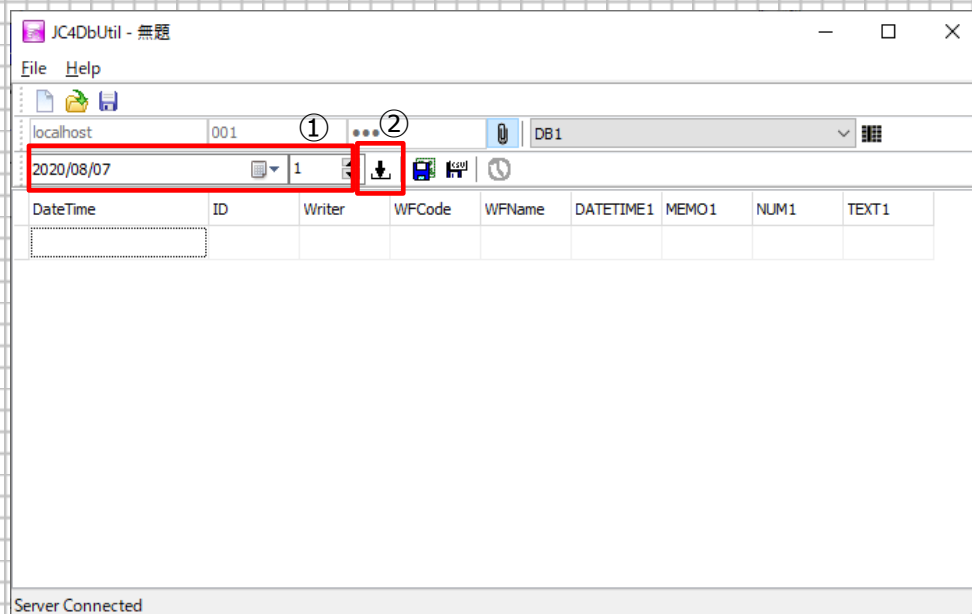
④データ選択ダイアログが表示されるので、「**DATETIME1**」「**MEMO1**」「**NUM1**」「**TEXT1**」をすべて選択して**貼り付けボタン**をクリックしてください。



⑤画面上部に貼り付けられた事を確認できたら、**OK** ボタンを押してデータ選択ダイアログを閉じてください。

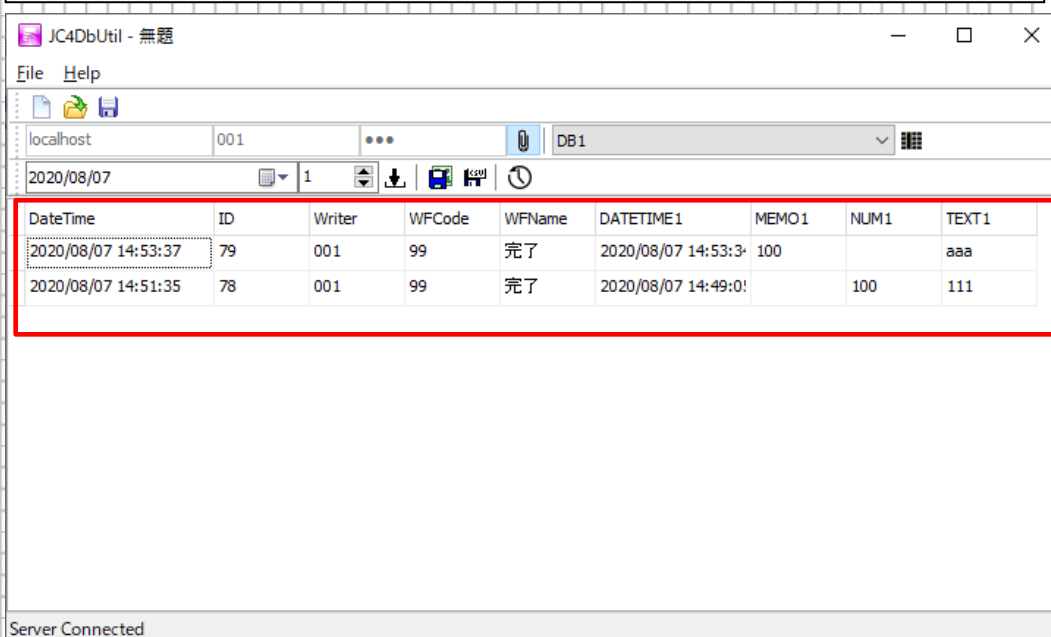


上記を行うことで列に「**DATETIME1**」「**MEMO1**」「**NUM1**」「**TEXT1**」が追加されます。  
続いて DB 内のデータの取得を行います。



① データを取得したい日付を入れます。今回は**本日の日付**となっていることを確認してください。右横の欄の「1」はデータ取得日数です。今回は「1」を入力してください。

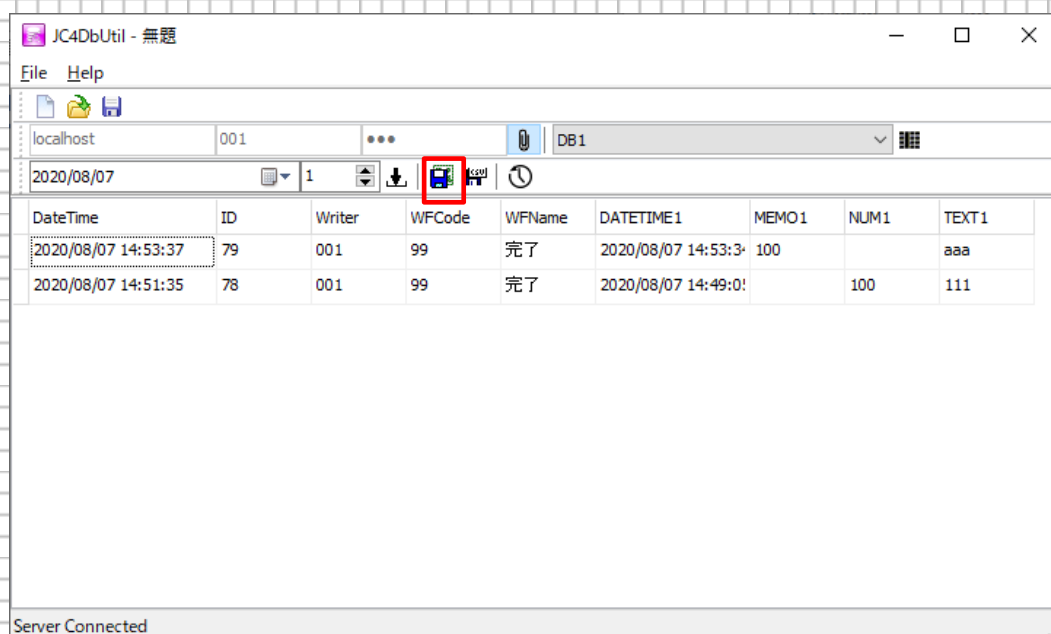
② 「**データ取得**」をクリックしてください。  
以下のようにビューアーで入力したデータが表示されます。



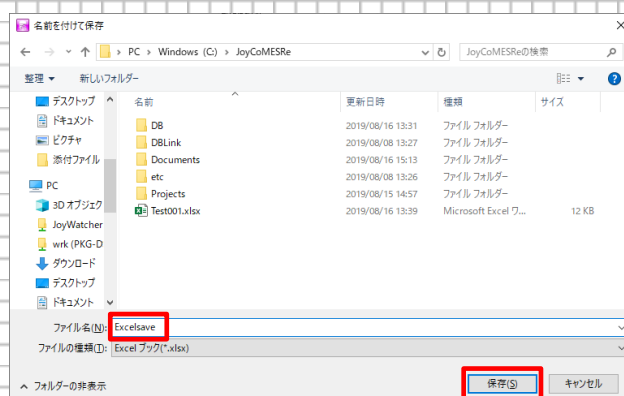
## 8.1. Excel/CSV ファイル形式として保存

ビューアを使用して入力したデータを、DB ユーティリティを使用して Excel/CSV ファイル形式として保存することが可能です。

以下の手順で Excel ファイル形式として保存が可能です。



① 入力されたデータが表示されている状態で、「Excel 保存」をクリックしてください。




② 保存先フォルダが表示されるので、「Excelsave」と名前を付けて C:\JoyCoMESRe フォルダを指定して「保存」をクリックしてください。

DateTime	ID	Writer	WfCode	WfName	DATETIME1	MEMO1	NUM1	TEXT1
2019/8/22 16:38	1	001	99	完了	2019/8/22 16:38	aaa bbb	12	aaa
2019/8/22 16:57	2	001	99	完了	2019/8/22 16:57	abc def	55	aaa
2019/8/22 16:58	3	001	99	完了	2019/8/22 16:58	テスト	23	bbb

③C:\JoyCoMESRe フォルダにある「Excelsave.xlsx」を開いて、データが転記されていることを確認してください。

以上が DB ユーティリティを使用した Excel ファイル形式の保存です。



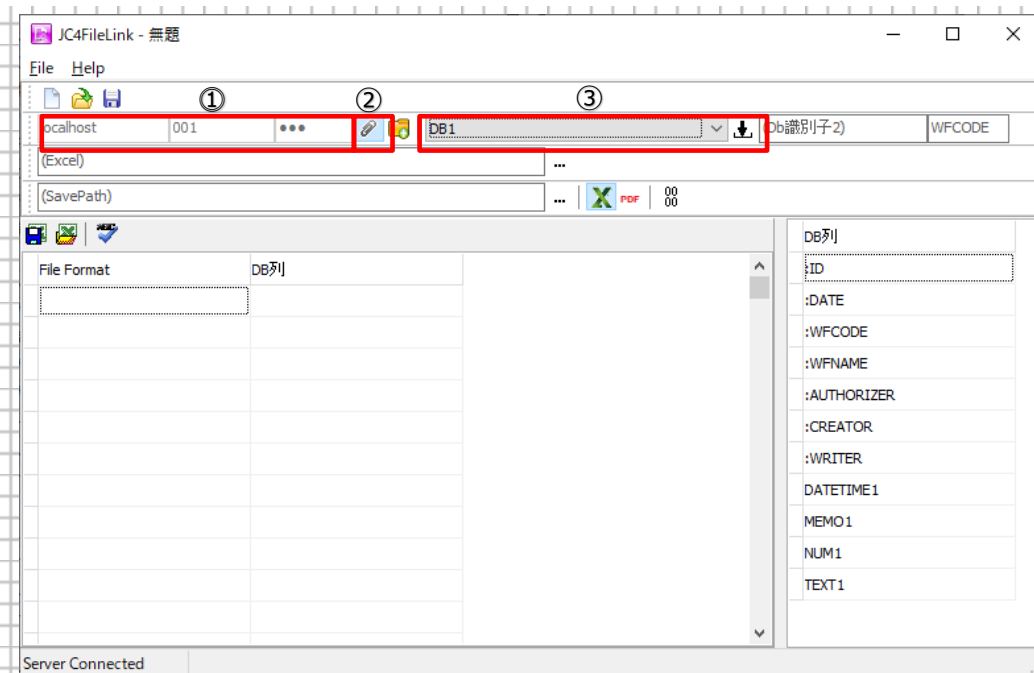
CSV 出力を行う場合は、「」を押して上記の手順を行ってください。

CSV 保存では、画像データは出力されません。

## 9. Excel/PDF ファイルへの保存

JoyCoMESRe スタートメニュー-外部連携-FILE リンクを起動し、以下の手順で Excel/PDF ファイルへ保存する設定を行います。

今回は PDF で「YYYYMMDDxxxx.pdf」のような形式でファイルを作成します。



① 下記のように入力してデータベースに接続します。

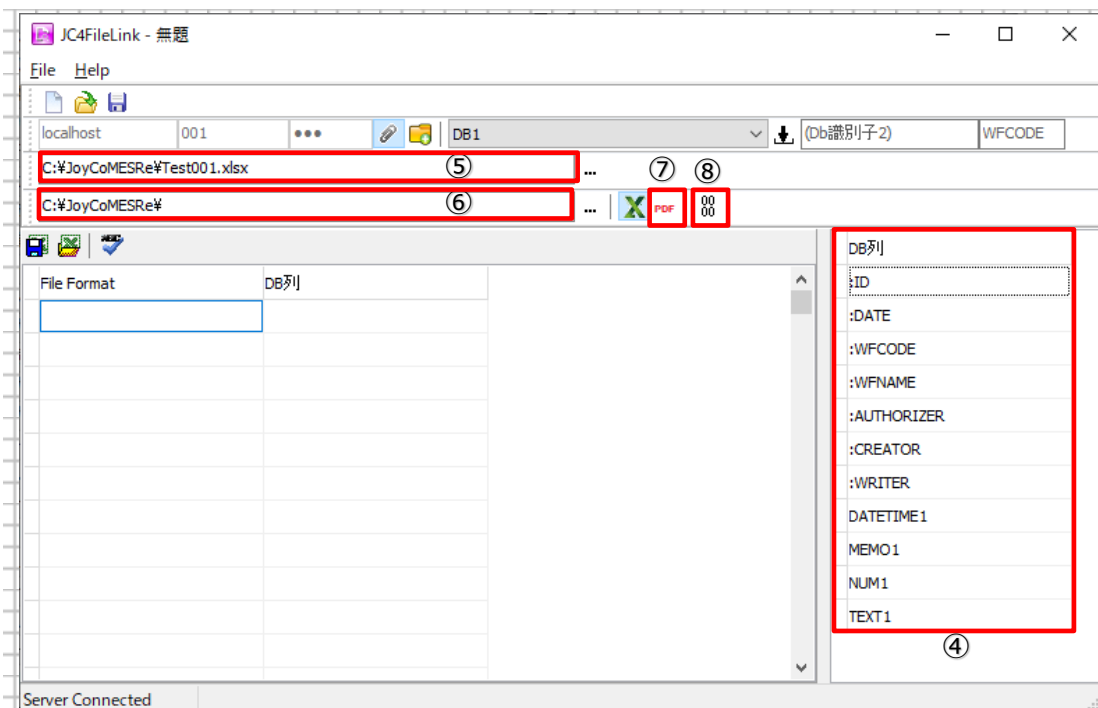
Server : **localhost**

User : **001**

Password : **111**

② 「サーバー接続/切断ボタン」をクリックしてサーバーに接続します。

③ 「DB 1」が表示されるので選択して、右側にある「DB 列表示」をクリックします。



④ 右側の DB 列にデータベースへ登録した列が表示される事を確認してください。

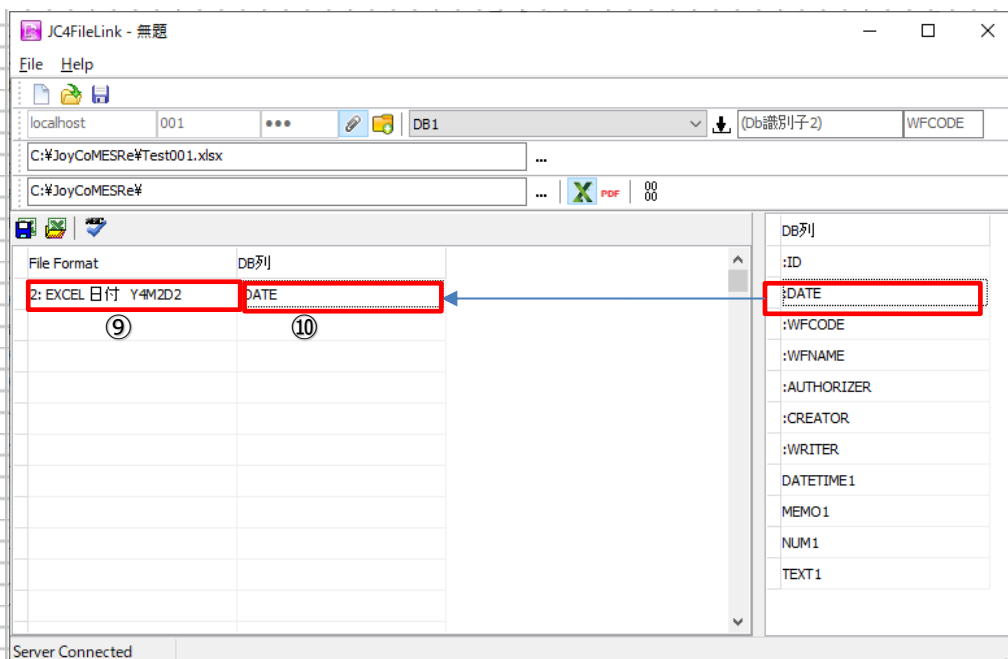
⑤ 右側の「…」をクリックし、雛形に使用するファイルを参照して設定します。今回は project の作成に使用したものと同じ「C:\JoyCoMESRe\Test001.xlsx」を設定しま

⑥ 右側の「…」をクリックし、保存先のフォルダを参照して設定します。今回は「C:\JoyCoMESRe\%」を設定します。

⑦ PDF のマークをクリックしてください。

\* ここで Excel のマークをクリックすると Excel 形式でファイル出力されるように設定されます。

⑧ 「0000 連番設定」をクリックしてください。ファイルに 4 桁の連番が追加されます。



⑨ 今回は日付形式を利用するのでプルダウンメニューから「2 :EXCEL 日付 Y4M2D2」を選択してください。

⑩ 左側の DB 列のセルをクリックして、選択状態にします。右側の DB 列から「:DATE」をダブルクリックして右側の DB 列へコピーさせます。

以上でファイルの設定は完了です。

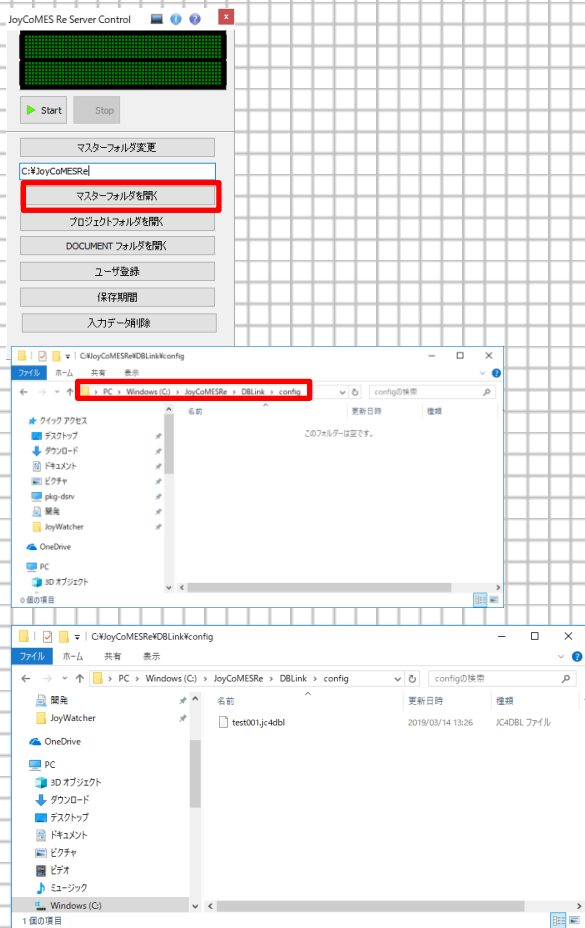
メニューバーの「File」から保存先を「c:¥JoyCoMESRe」にして「test.jc4filel」と名前を付けて保存してください。

次に設定したファイルを使用して PDF ファイルを出力する方法を記します。



## 9.1. Excel/PDF ファイルへの出力方法

設定したファイルを使用して、Excel/PDF ファイルへ出力します。



The screenshot shows the JoyCoMES Re Server Control application window. In the left sidebar, the 'マスターフォルダを開く' (Open Master Folder) button is highlighted with a red rectangle. Below it, a file explorer window is open, showing the path 'C:\JoyCoMESRe\DBLink\config'. The 'config' folder is highlighted with a red rectangle. In the next step, the file explorer shows the contents of the 'config' folder, with the file 'test001.jc4dbf' highlighted.

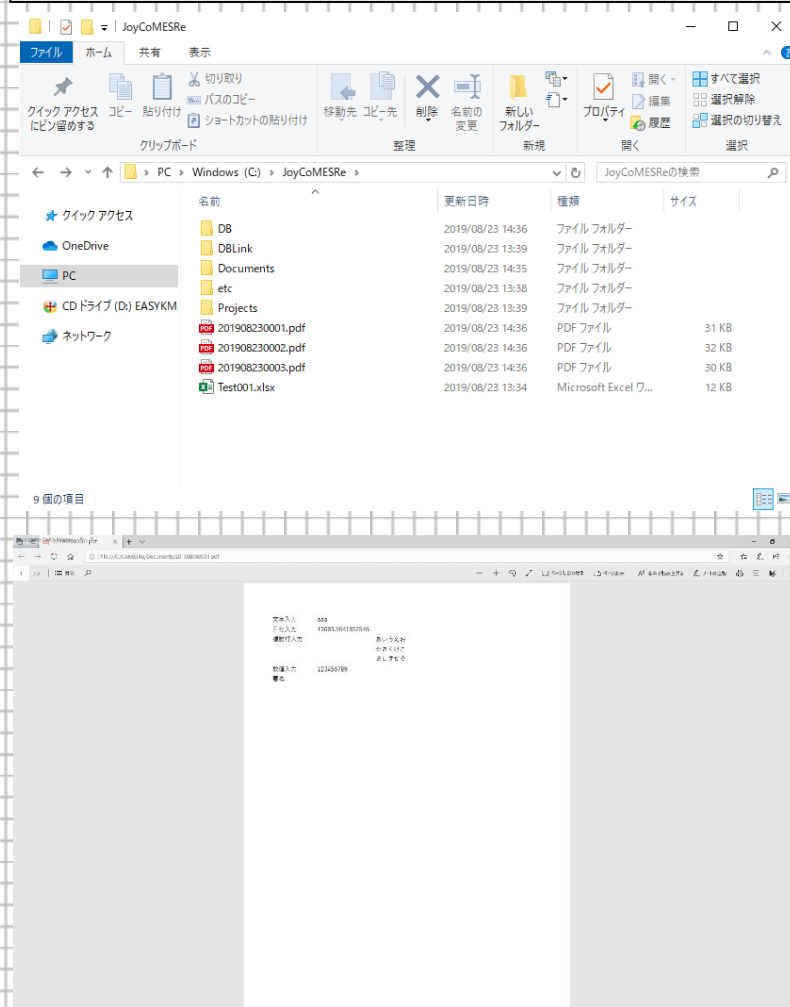
①サーバーコントロール画面から「マスターフォルダを開く」をクリックし、DBLink 下の config フォルダを開きます。

②「C:¥JoyCoMESRe」にある作成した設定ファイル (test.jc4filel) を手動で config フォルダにコピーします。

③保存後、JoyCoMES Re サーバー動作中に **JoyCoMESRe スタートメニュー-外部連携-実行**を選択してください。

\* 実行完了してもダイアログ等はないのでご注意ください。

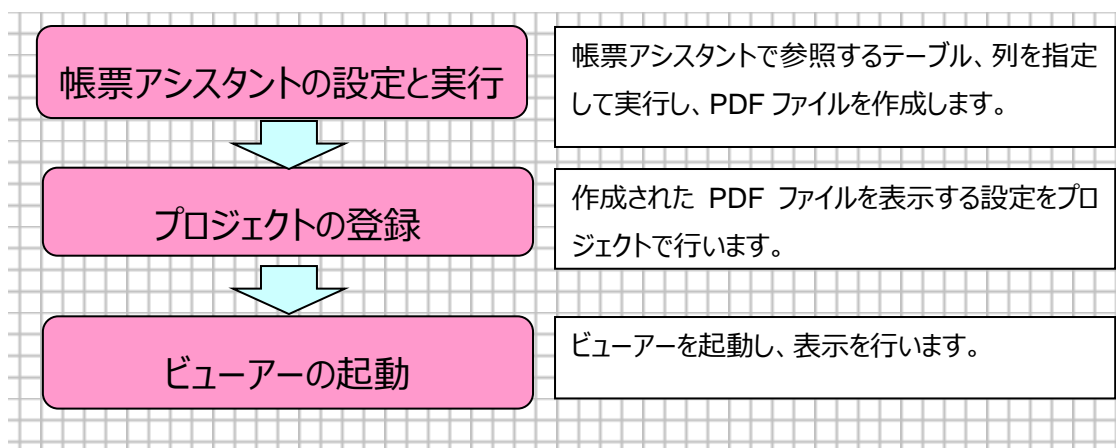
「C:¥JoyCoMESRe」フォルダに「YYYYMMDDxxxx.pdf」という名前のファイルが作成されていて、転記されていることを確認してください。



PDF/Excel ファイルの出力は、DB 内のデータがすべて出力されているときには行われません。  
出力されない場合は、ビューアーから新規にデータを保存し、再度実行してください。

## 10. 帳票出力と表示

入力された Excel の内容を帳票として出力し、ビューアーで参照するまでの流れは以下のとおりです。



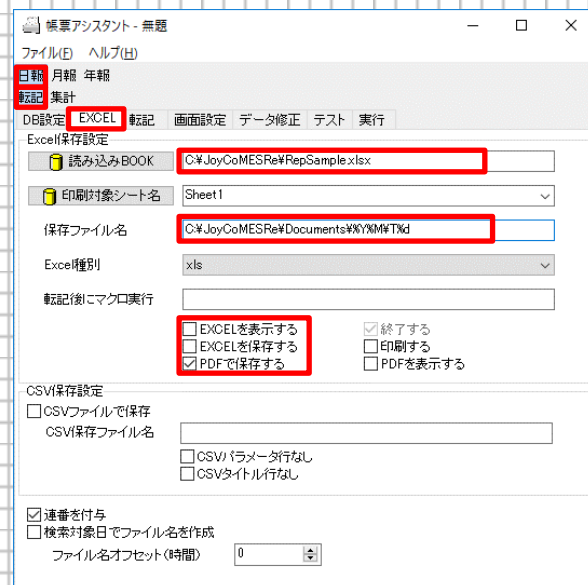
### 10.1. 帳票出力の準備

帳票出力に使用する Excel をコピーします。

Excel シート（RepSample.xlsx）は、JoyCoMESRe インストールフォルダにありますので、あらかじめ **C:¥JoyCoMESRe** フォルダへコピーしておいてください。

## 10.2. 帳票アシスタントの設定

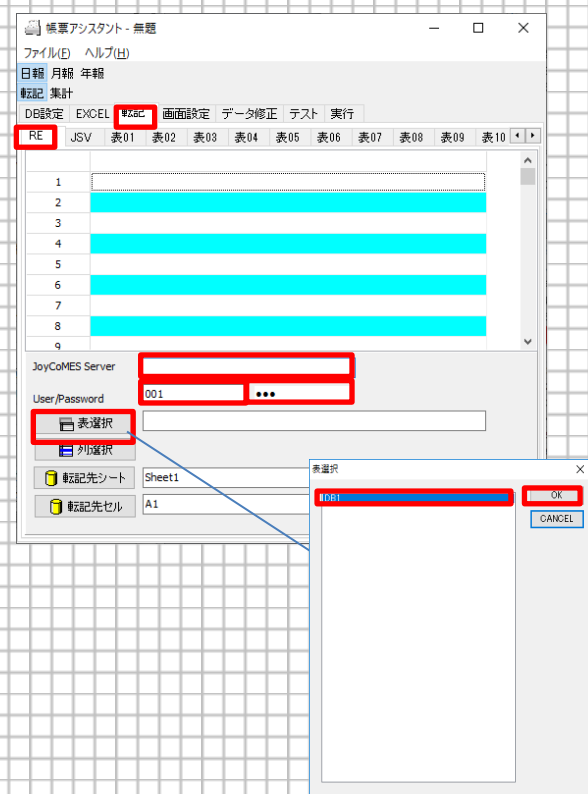
JoyCoMESRe スタートメニュー-データ活用-帳票アシスタントをクリックしてください。



① **日報、転記**を選択し、**EXCEL タブ**を開き、「**読み込み BOOK**」ボタンから **C:\JoyCoMESRe\RepSample.xlsx** を開いてください。

② 「**保存ファイル**」に **C:\JoyCoMESRe\Documents\%Y%M%T%d** を設定してください。

③ 「**EXCEL を表示する**」のチェックを外し、「**EXCEL を保存する**」、「**PDF で保存する**」のチェックをつけてください。

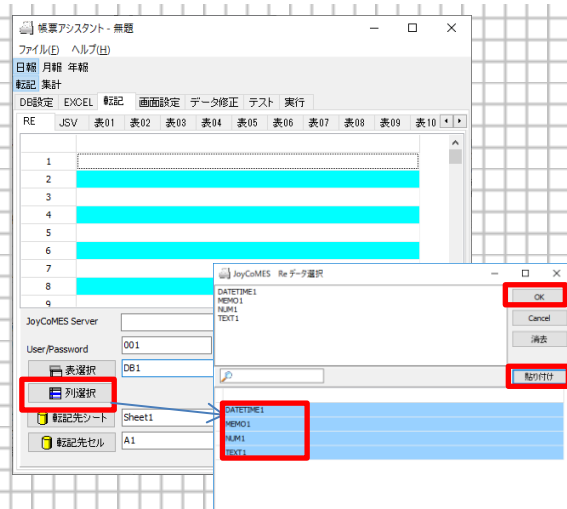


④ **転記 タブ**で **RE** を指定し、**User/Password** に「**001**」、「**111**」を入力して、**表選択**をクリックしてください。

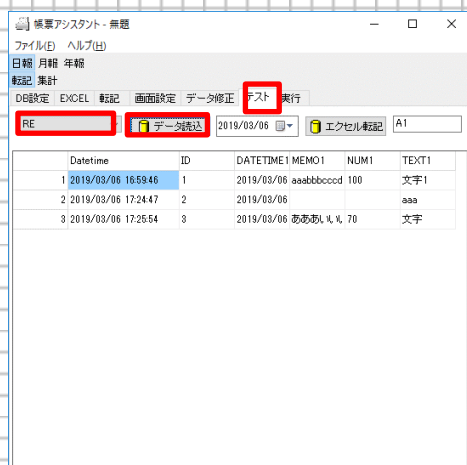
⑤ 表選択画面で「**DB1**」を選択し、「**OK**」をクリックしてください。  
※自端末でサーバーが動作している場合は、JoyCoMES Server は空欄で接続されます。



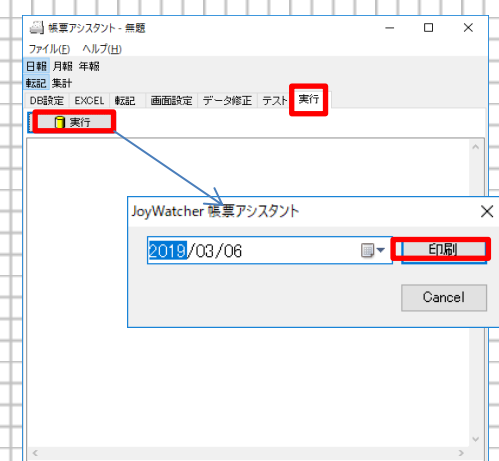
JoyCoMES Re サーバーに接続する際のユーザー、パスワードは、ユーザー登録済であれば、権限に関係なく接続できます。



- ⑥「列選択」をクリックし、列をすべて選択して「貼り付け」を行ってください。  
画面上部に列が設定されたら、「OK」をクリックしてください。  
⑦選択した列が画面に登録されます。



- ⑧テストタブに切り替え、「RE」を選択し、「データ読み」をクリックすることで、指定日に完了されたデータの内容が参照できます。



- ⑨実行タブで「実行」ボタンをクリックし、日付を指定して「印刷」をクリックすることで、設定したファイル名で保存が行われます。

以上で設定は終了となります。

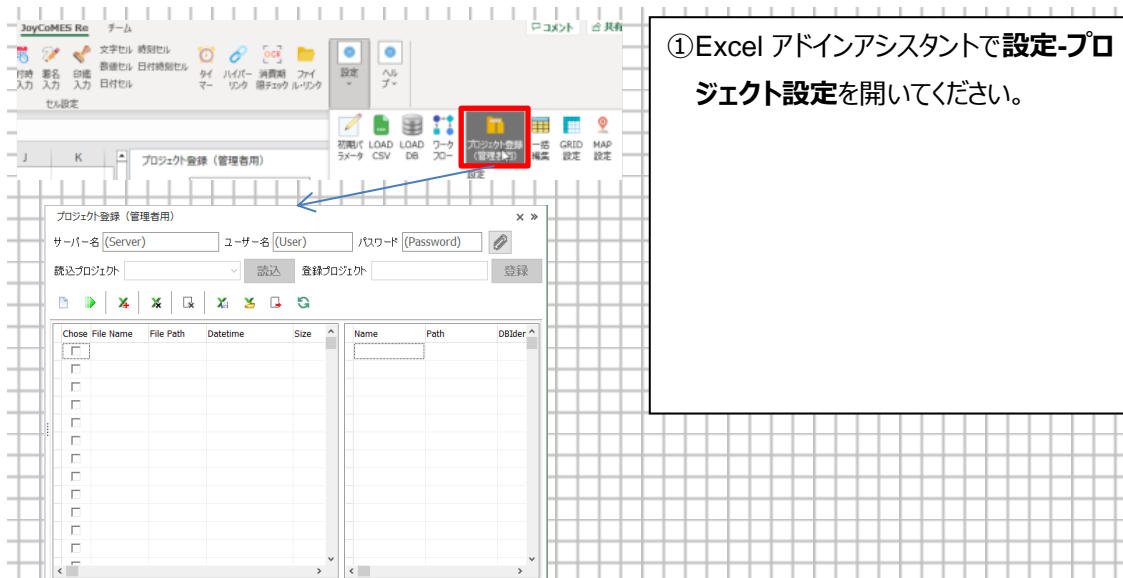
**C:\¥JoyCoMESRe** 下に「ReRep.jrp」と名前を付けて保存してください。



定期的な出力を行う場合、設定したJRP ファイルをWindowsのタスクスケジューラ等で定期的に実行する設定を行ってください。

## 10.3. プロジェクトでの PDF 出力設定

プロジェクトで PDF ファイルを表示する設定を行います。手順としては PDF ファイルを直接設定する方法と、マスターフォルダにある Documents 下のフォルダを指定し、その中にある PDF ファイルを一覧で表示する方法があります。ここでは例として、フォルダを指定する設定を行います。



②それぞれ以下のように入力して下さい。

サーバー名 : **localhost**

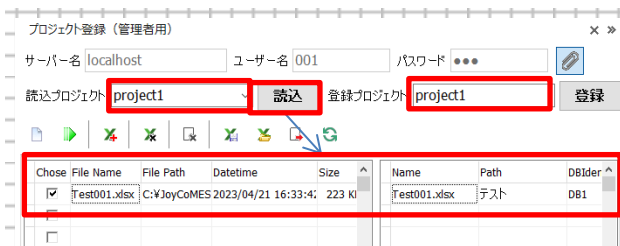
ユーザー名 : **001**

パスワード : **111**

③  をクリックしてください。

接続されると、「読込」と「登録」が有効化されます。

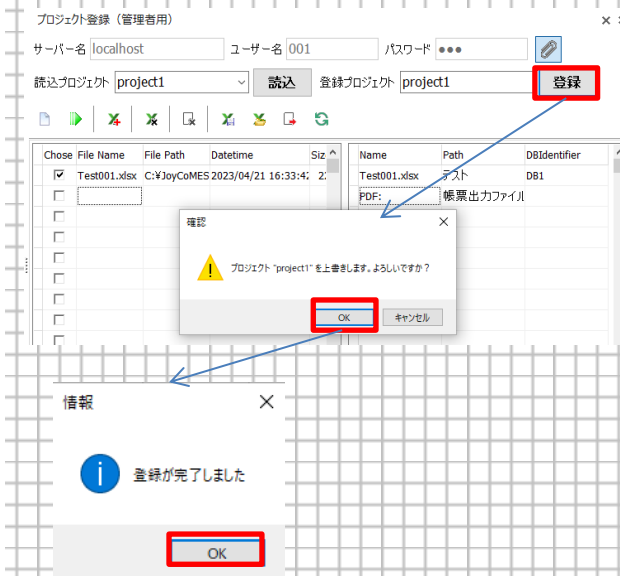




- ④ 読込プロジェクトのコンボボックスから「**Project1**」を選択し、「**読込**」をクリックすることで、プロジェクトが表示されます。
- 登録プロジェクトにも、「**Project1**」が設定されます。

Name	Path	DBIdentifier
Test001.xlsx	テスト	DB1
PDF:	帳票出力ファイル	

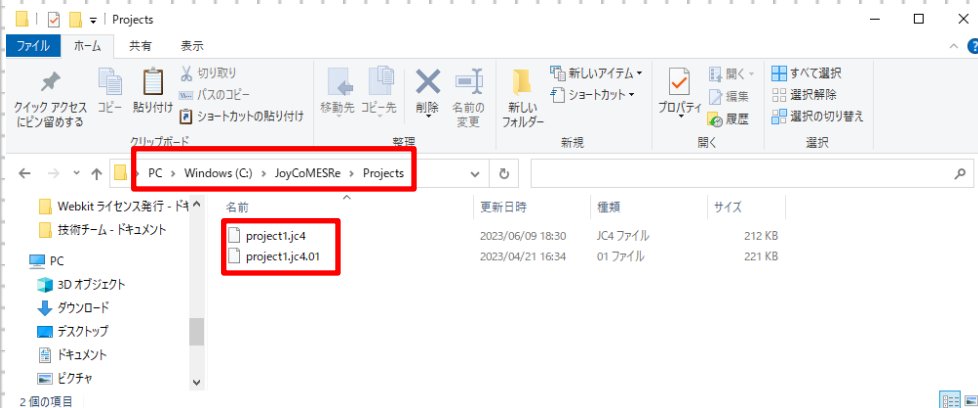
- ⑤ 画面右側に以下の設定を追加してください。
- Name: **PDF:**  
Path: 帳票出力ファイル



- ⑥ プロジェクト名が「**Project1**」になっていることを確認し、「**登録**」をクリックしてください。
- ⑦ 上書き確認メッセージが表示されるため、「**OK**」をクリックしてください。
- ⑧ 「登録されました」のメッセージが表示されるため、「**OK**」で終了してください。

以上で、プロジェクトの更新は終了です。

プロジェクトフォルダを参照すると、「**Project1.jc4.01**」ファイルが作成されています。  
このファイルは、Excel アドインアシスタントからプロジェクト登録を行った際に作成されるバックアップファイルで、1つのプロジェクトに対して最大 99 個まで作成されます。  
既存のプロジェクトを使用する場合は、最後の「01」を削除してください。



Excel アドインアシスタントからのプロジェクトの登録、変更は、ユーザー設定で「100」の権限を付与したユーザーのみが可能です。  
それ以外のユーザーを設定した場合、プロジェクトの参照、登録は行えません。



## 10.4. ビューアーでの表示確認

PDF ファイルがビューアーで表示できることを確認します。

JoyCoMESRe スタートメニュー-クライアントをクリックしてください。

① 作成したユーザーで接続する設定を行い、「ログイン」をクリックします。

ユーザー：001  
パスワード：111

② プロジェクト、ユーザー、パスワードに誤りがなければ、帳票出力ファイルが表示されます。

③ 帳票出力ファイル下に帳票作成日の年2桁+月2桁フォルダ、その下にT+帳票作成日+連番4桁.pdf となっているファイルがありますので、クリックしてPDFが表示されることをご確認ください。

**ヒント** 作成されている帳票フォルダ、ファイル名は帳票アシスタントの保存ファイル名に従って作成されているため、実行日によって異なります。

以上で PDF の表示確認は終了です。ビューアーは終了してください。

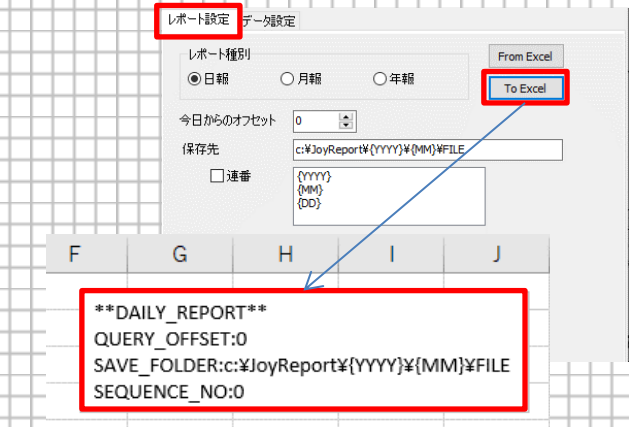
Datetime	ID	DATETIME1	MEMO1	NUM1	TEXT1
2023/4/21 15:01:57	181	2023/4/21 14:56:32	aaa bbb ccc	10	文字テスト

# 11. ダッシュボード設定

保存したデータがビューアで表示されることを確認します。

JoyCoMESRe スタートメニュー-データ活用-ダッシュボード設定をクリックしてください。

## 11.1. Excel 作成



レポート設定 タブ設定

レポート種別  
☒ 日報 ☐ 月報 ☐ 年報

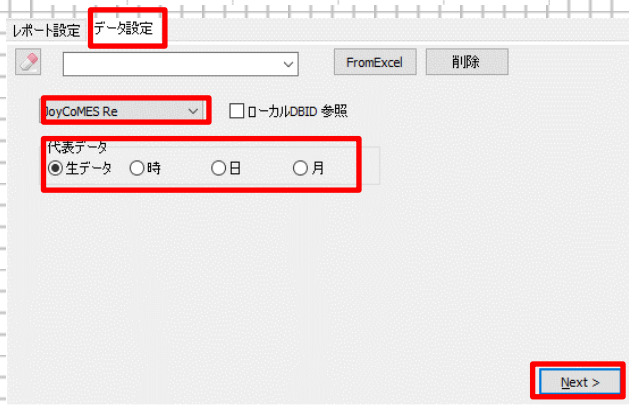
From Excel  
To Excel

今日のオフセット 0

保存先  
☐ 連番  
c:\JoyReport\{YYYY}\{MM}\{FILE}

SEQUENCE\_NO:0

① Excel を新規に起動し、ダッシュボード設定のレポート設定タブから to Excel を実行してください。  
Excel 上にテキストボックスで  
**\*\*DAILY\_REPORT\*\***  
が転記されます。



レポート設定 タブ設定

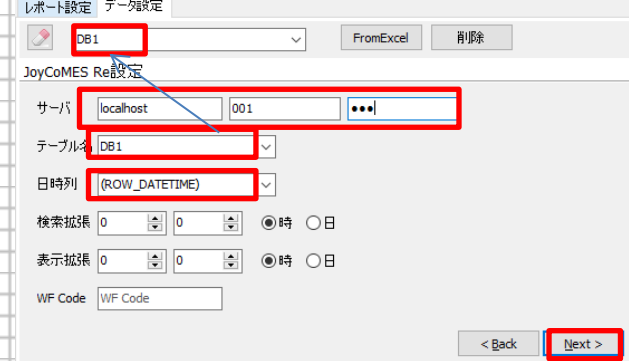
JoyCoMES Re ☐ ローカルDBID 参照

代表データ  
☒ 生データ ☐ 時 ☐ 日 ☐ 月

Next >

② データ設定タブに切り替え、**JoyCoMESRe** を選択し、代表データを生データとします。

設定が完了したら、**Next** で次に進みます。



レポート設定 タブ設定

DB1

JoyCoMES Re設定

サーバ localhost DBID 001

テーブル名 DB1

日時列 ROW\_DATETIME

検索範囲 0 0 時 日

表示範囲 0 0 時 日

WF Code WF Code

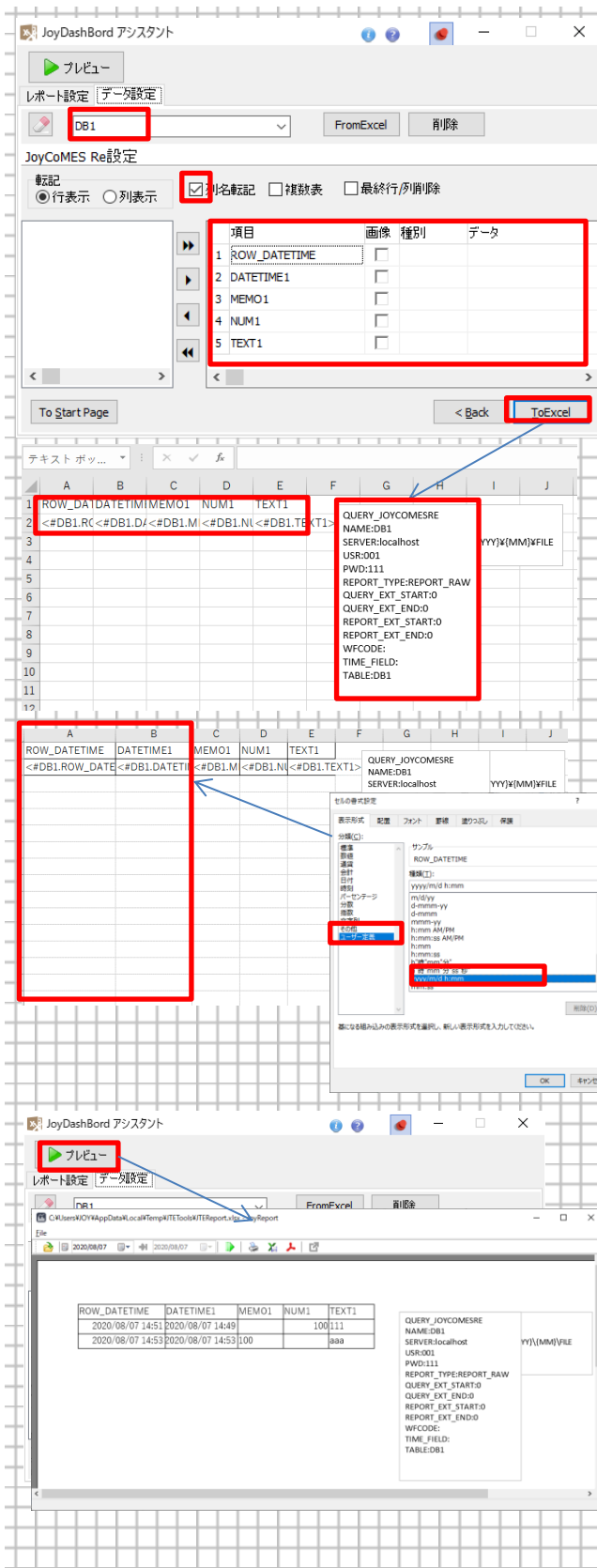
< Back Next >


③ サーバーに **localhost**、**001**、**111** を設定してください。

④ テーブル名から、**DB1** を選択してください。上の空欄にも DB1 が設定されます。

⑤ 日時列から **ROW\_DATETIME** を選択してください。

設定が完了したら、**Next** で次に進みます。



⑥  を選択し、左側の内容をすべて右側に移してください。

⑦ 列名転記にチェックを付けてください

⑧ Excel の A2 にカーソルを合わせて、**ToExcel** をクリックしてください。

Excel に列名とデータ出力列、**QUERY\_JOYCOMESRE** が転記されます。

※ 列名転記を有効にしたときは、ToExcel を行うセルの上一行を空けておく必要があります。

⑨ Excel で **ROW\_DATETIME**、**DATETIME1** の列幅を拡張します。

⑩ 転記した列名とデータ出力列を枠で囲います。

⑪ **ROW\_DATETIME**、**DATETIME1** の列に対して書式設定から、日付型の書式に変更します。

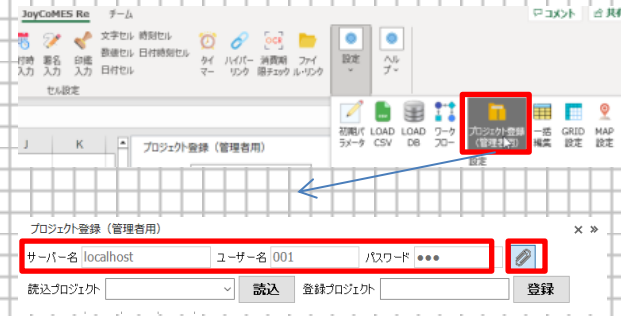
⑫ プレビューをクリックすることで、Excel に、DBUtil で参照したようなデータが表示されます。

※ **ROW\_DATETIME** には保存した時間、**DATETIME1** には帳票内で設定した時間が転記されます。

以上で設定は終了です。

Excel を、**C:\JoyCoMESRe** 下に **DASH001** という名前で保存してください。

## 11.2. ビューアーでの表示



プロジェクト登録 (管理者用)

サーバー名: localhost ユーザー名: 001 パスワード: \*\*\*

読み込みプロジェクト: project1 読み込みプロジェクト: project1


読み込み 登録


① Excel アドインアシスタントの設定-プロジェクト設定を開き、以下の設定を行ってください。

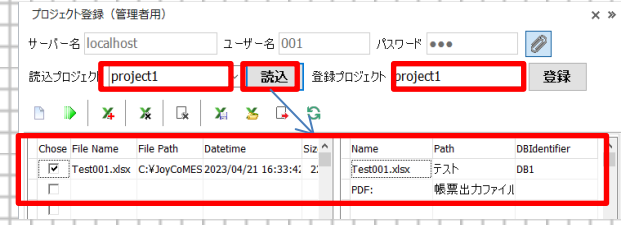
サーバー名: localhost

ユーザー名: 001

パスワード: 111

②  をクリックして接続してください。

※既に接続されている場合は、 をクリックして接続を解除したあと、再度接続を行ってください。



プロジェクト登録 (管理者用)

サーバー名: localhost ユーザー名: 001 パスワード: \*\*\*

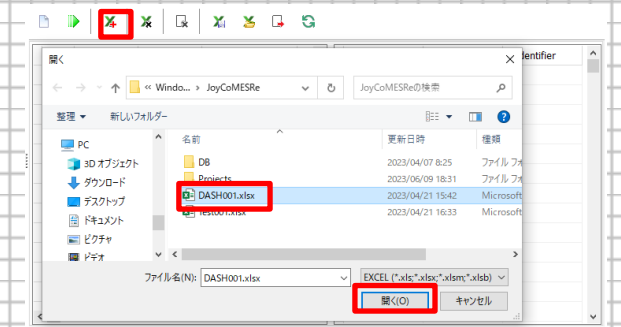
読み込みプロジェクト: project1 読み込みプロジェクト: project1

読み込み 登録

Chose	File Name	File Path	Datetime	Size	Name	Path	DBIdentifier
<input checked="" type="checkbox"/>	Test001.xlsx	C:\JoyCoMES 2023\04\21 16:33:42	2023/04/21 16:33:42	2023/04/21 16:33:42	Test001.xlsx	テスト	DB1

③ 読み込みプロジェクトのコンボボックスから「Project1」を選択し、「読み込み」をクリックすることで、プロジェクトが表示されます。

登録プロジェクトにも、「Project1」が設定されます。




プロジェクト登録 (管理者用)

サーバー名: localhost ユーザー名: 001 パスワード: \*\*\*

読み込みプロジェクト: project1 読み込みプロジェクト: project1

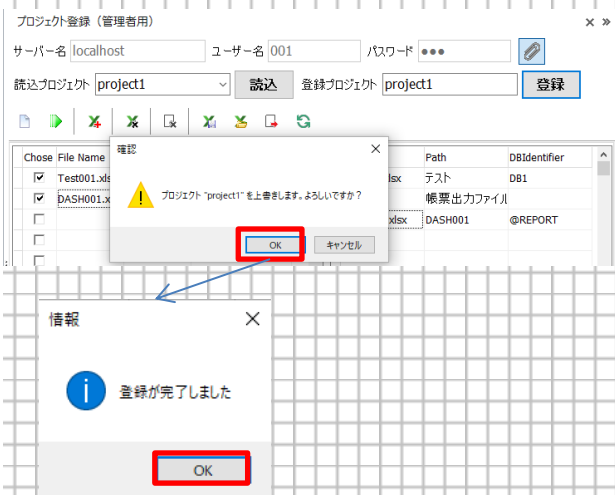
読み込み 登録

Chose	File Name	File Path	Datetime	Size	Name	Path	DBIdentifier
<input checked="" type="checkbox"/>	Test001.xlsx	C:\JoyCoMES 2023\04\21 16:33:42	2023/04/21 16:33:42	2023/04/21 16:33:42	Test001.xlsx	テスト	DB1
<input checked="" type="checkbox"/>	DASH001.xlsx	C:\JoyCoMES 2023\04\21 15:42:21	2023/04/21 15:42:21	2023/04/21 15:42:21	DASH001.xlsx	DASH001	@REPORT

④  をクリックし、C:\JoyCoMESRe 下の DASH001 を選択して開くクリックしてください。

⑤ DASH001 をダブルクリックして、右側に移動してください。

DBIdentifier には @REPORT が自動で入力されます。



プロジェクト登録 (管理者用)

サーバー名 localhost ユーザー名 001 パスワード ...

読込プロジェクト project1 読込プロジェクト project1 登録

確認

プロジェクト "project1" を上書きします。よろしいですか？

OK キャンセル

情報

登録が完了しました

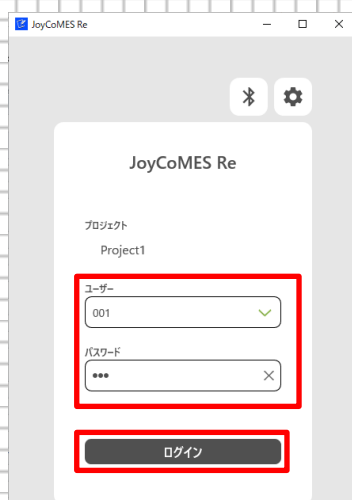
OK

⑥プロジェクト名が「**Project1**」になっていることを確認し、「登録」をクリックしてください。

⑦上書き確認メッセージが表示されるため、「**OK**」をクリックしてください。


⑧「登録が完了しました」のメッセージが表示されるため、「**OK**」で終了してください。

以上で、プロジェクトの更新は終了です。

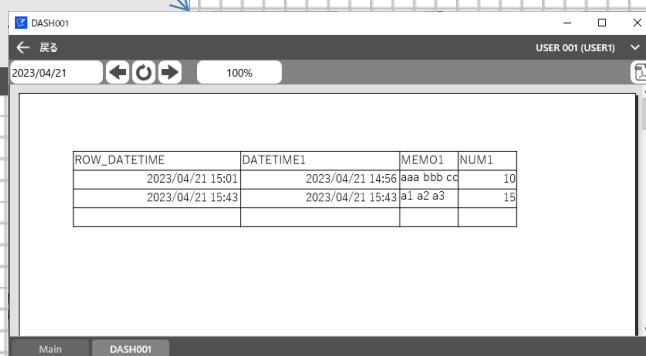


⑨ JoyCoMESRe スタートメニューーク  
ライアントをクリックし、ビューアーを起  
動して、再度 Project1 にログインしてく  
ださい。



⑩ ログインすると、 というアイコンで、  
DASH001 が表示されます。

クリックすることで、プレビューで表示した  
画面がビューアー上でも表示されます。



ダッシュボード機能を使用することで、DB に保存した内容をビューアーでリアルタイムに表示、  
確認が可能です。

また、Excel のグラフ機能と組み合わせることで、保存データを使用したグラフ表示等、  
JoyCoMESRe で保存したデータの活用が実現できます。



ダッシュボード設定では JoyCoMESRe で保存したデータのほかにも、ODBC DB のデータ参照も行うことが可能です。

## 12. 追加ビューの設定と表示

Ver4.0.0 から、ビューアーにて、入力データを新規ビュー(GRID、MAP、カレンダー)で表示することが可能になりました。この項目では、作成頂いたデータを新規ビューで表示させるための設定を行います。

※この章で設定するのはあくまで基本的な項目となります。詳しい設定手順に関しては、別紙『JoyCoMES Re Assist.pdf』を参照してください。

### 12.1. 表示用の DBCOL 設定

新規ビューで使用する、予約列である VIEWER\_STRAT、VIEWER\_CAPTION、VIEWER\_LOCATION の設定を行います。

①数値入力の下のセルに「**開始時間**」を入力します。

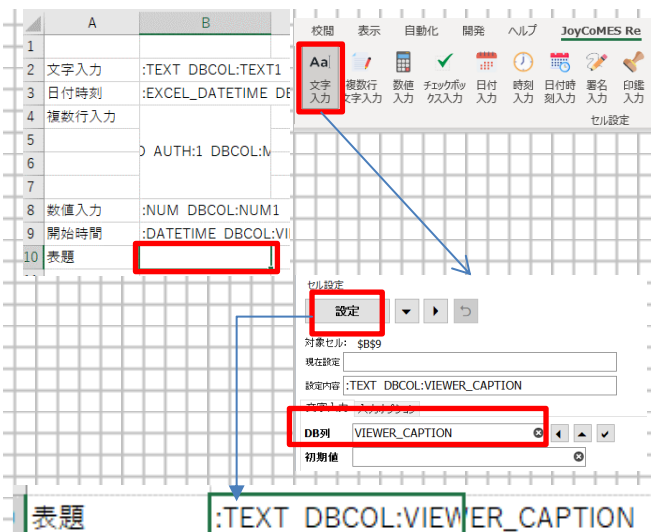
②その右のセルを選択し、右クリックから「セルの書式設定」を表示して、日付時刻の設定とします。

③入力規制を行ったセルを選択し、アシスタントの入力項目から「**日付時刻入力**」を選択します。

④DB列をクリックしてコンボボックスから「**VIEWER\_STRAT**」を選択します。

⑤「**設定**」をクリックすることで、対象セルに内容が反映されます。





⑥開始時間の下のセルに「表題」を入力します。

⑦その右のセルを選択し、アシスタントの入力項目から「文字入力」を選択します。

⑧DB列をクリックしてコンボボックスから「VIEWER\_CAPTION」を選択します。

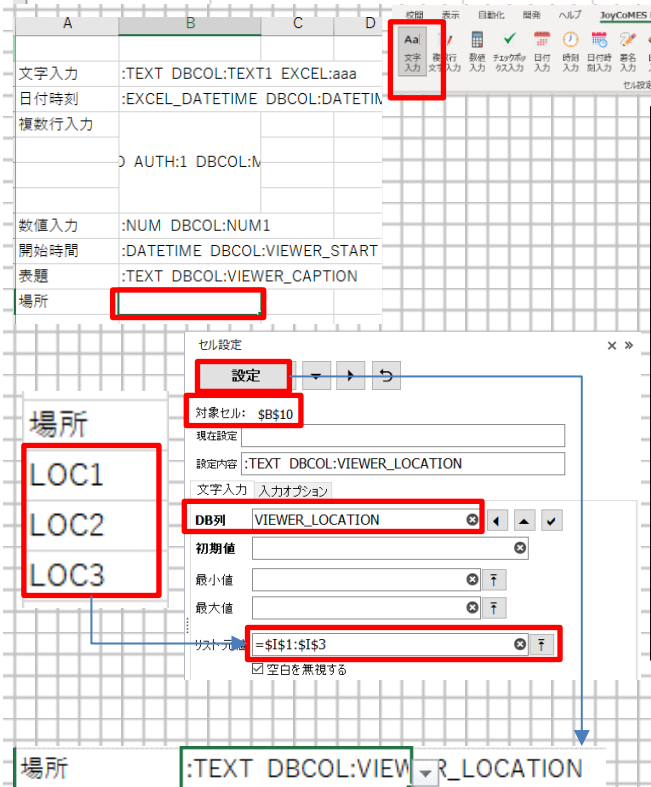
⑨「設定」をクリックすることで、対象セルに内容が反映されます。

⑥開始時間の下のセルに「表題」を入力します。

⑦その右のセルを選択し、アシスタントの入力項目から「文字入力」を選択します。

⑧DB列をクリックしてコンボボックスから「VIEWER\_CAPTION」を選択します。

⑨「設定」をクリックすることで、対象セルに内容が反映されます。



⑩表題の下にセルに「場所」を入力します。

⑪場所の右のセルを選択し、セル設定から「文字入力」を選択します。

⑫場所の項目はリスト参照が推奨されるため、任意の場所に項目のリストを作成し、文字入力の「リスト元値」で使用するセルを登録してください。今回は例として、「LOC1~LOC3」をリスト登録します。

⑬DB列をクリックしてコンボボックスから「VIEWER\_LOCATION」を選択します。

⑭「設定」をクリックすることで、対象セルに内容が反映されます。

以上で設定は終了です。  
続いて、GRID の設定を行います。

⑩表題の下にセルに「場所」を入力します。

⑪場所の右のセルを選択し、セル設定から「文字入力」を選択します。

⑫場所の項目はリスト参照が推奨されるため、任意の場所に項目のリストを作成し、文字入力の「リスト元値」で使用するセルを登録してください。今回は例として、「LOC1~LOC3」をリスト登録します。

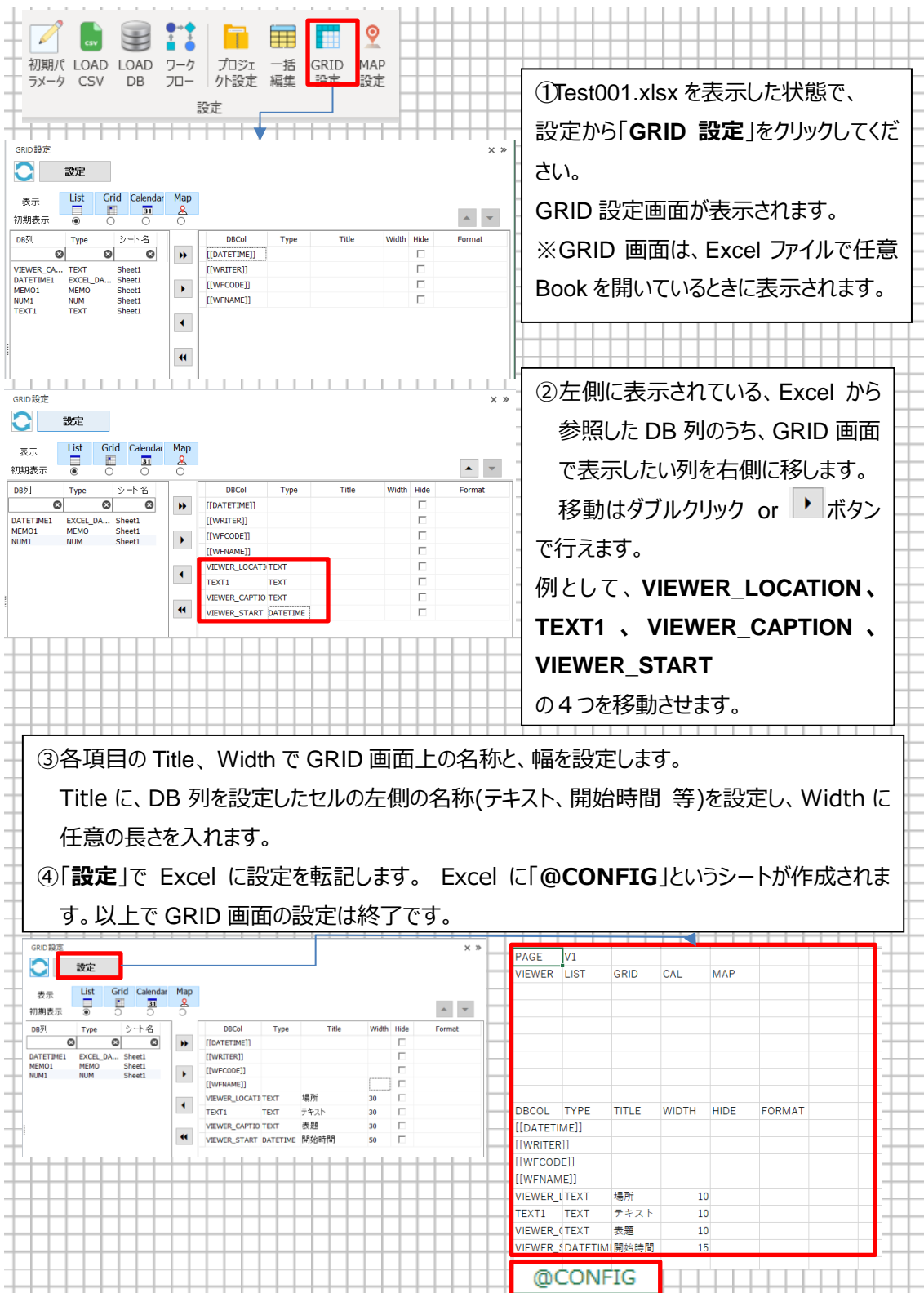
⑬DB列をクリックしてコンボボックスから「VIEWER\_LOCATION」を選択します。

⑭「設定」をクリックすることで、対象セルに内容が反映されます。

以上で設定は終了です。  
続いて、GRID の設定を行います。

## 12.2. GRID 設定

ビューアーで、GRID 画面を表示する設定を行います。



①Test001.xlsx を表示した状態で、設定から「**GRID 設定**」をクリックしてください。

GRID 設定画面が表示されます。

※GRID 画面は、Excel ファイルで任意 Book を開いているときに表示されます。

②左側に表示されている、Excel から参照した DB 列のうち、GRID 画面で表示したい列を右側に移します。

移動はダブルクリック or ▶ ボタンで行えます。

例として、**VIEWER\_LOCATION**、**TEXT1**、**VIEWER\_CAPTION**、**VIEWER\_START** の4つを移動させます。

③各項目の Title、Width で GRID 画面上の名称と、幅を設定します。

Title に、DB 列を設定したセルの左側の名称(テキスト、開始時間 等)を設定し、Width に任意の長さを入れます。

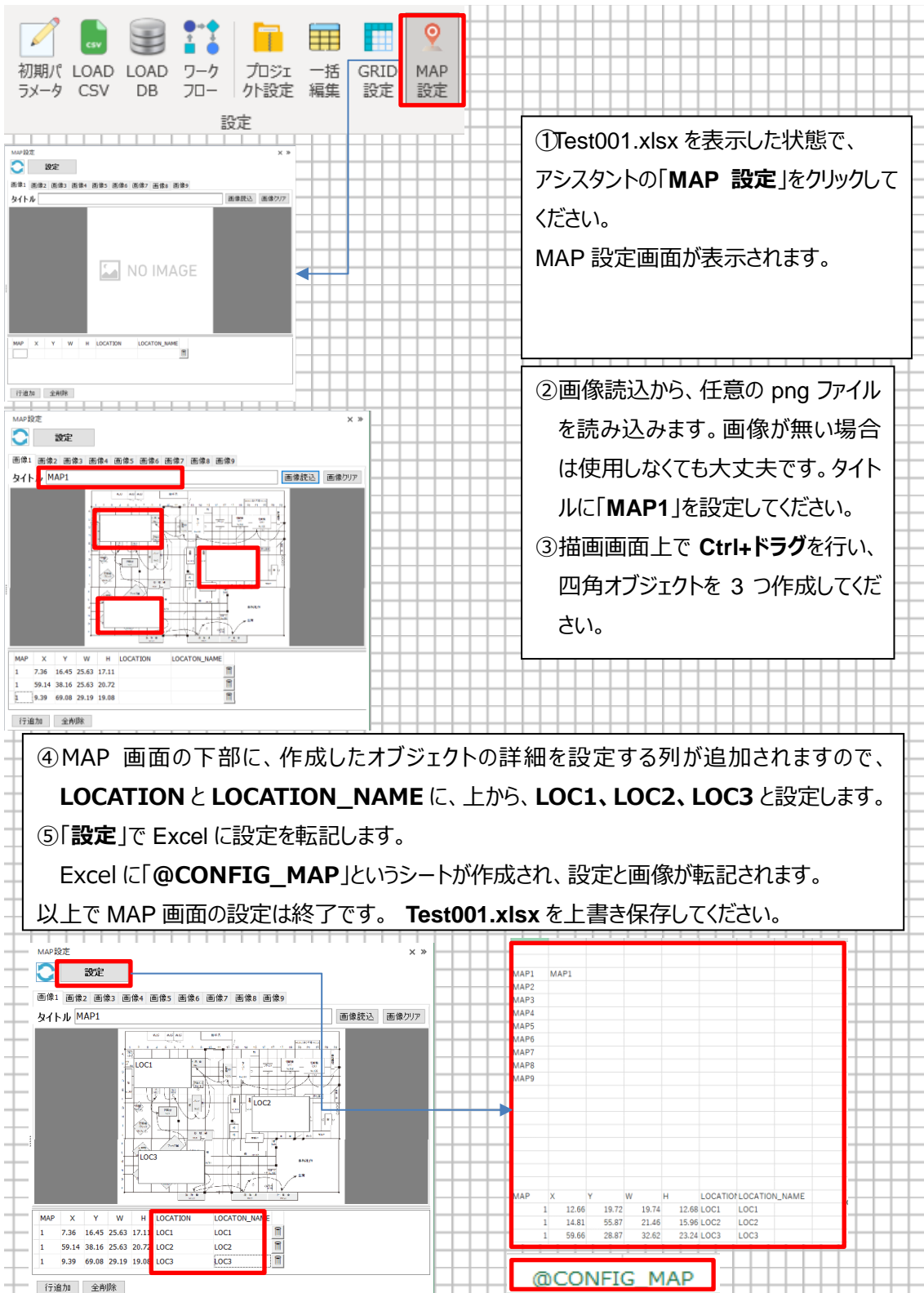
④「**設定**」で Excel に設定を転記します。Excel に「**@CONFIG**」というシートが作成されます。以上で GRID 画面の設定は終了です。

DBCOL	TYPE	TITLE	WIDTH	HIDE	FORMAT
[[DATETIME]]				<input type="checkbox"/>	
[[WRITER]]				<input type="checkbox"/>	
[[WFCODE]]				<input type="checkbox"/>	
[[WFNAME]]				<input type="checkbox"/>	
VIEWER_LOCATION TEXT	場所		30	<input type="checkbox"/>	
TEXT1 TEXT	テキスト		30	<input type="checkbox"/>	
VIEWER_CAPTION TEXT	表題		30	<input type="checkbox"/>	
VIEWER_START DATETIME	開始時間		50	<input type="checkbox"/>	

**@CONFIG**

## 12.3. MAP 設定

ビューアーで、MAP 画面を表示するための設定を行います。



① Test001.xlsx を表示した状態で、アシスタントの「**MAP 設定**」をクリックしてください。  
MAP 設定画面が表示されます。

② 画像読み込みから、任意の png ファイルを読み込みます。画像が無い場合は使用しなくても大丈夫です。タイトルに「**MAP1**」を設定してください。

③ 描画画面上で **Ctrl+ドラッグ** を行い、四角オブジェクトを 3 つ作成してください。

④ MAP 画面の下部に、作成したオブジェクトの詳細を設定する列が追加されますので、**LOCATION**と **LOCATION\_NAME** に、上から、**LOC1**、**LOC2**、**LOC3** と設定します。

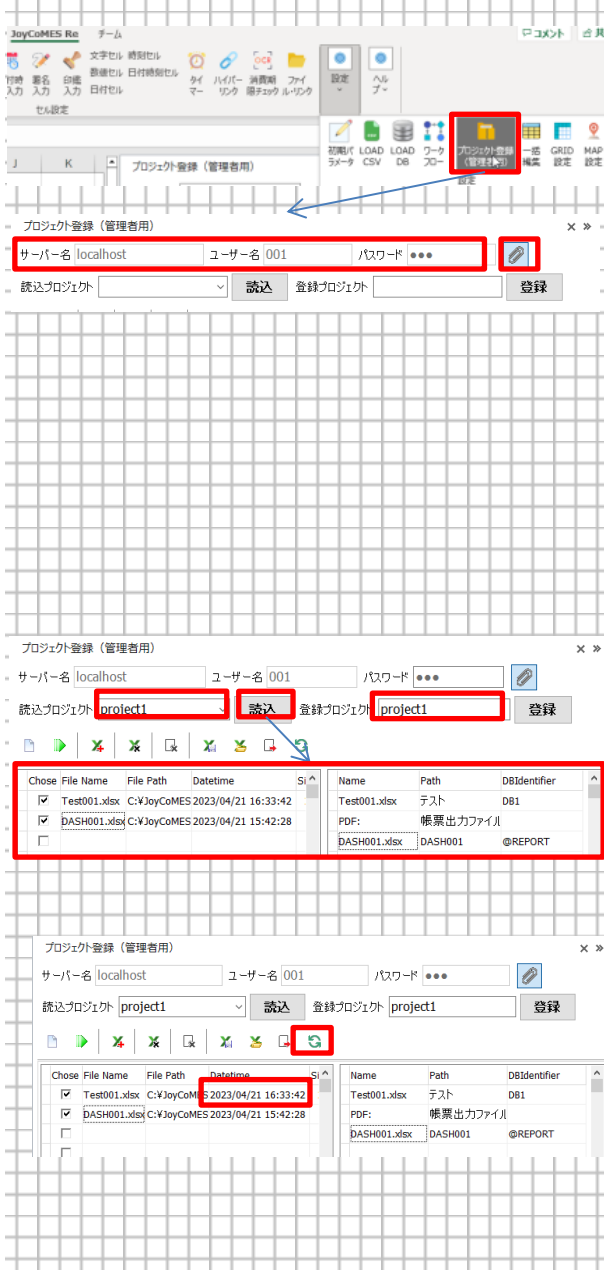
⑤ 「**設定**」で Excel に設定を転記します。  
Excel に「**@CONFIG\_MAP**」というシートが作成され、設定と画像が転記されます。  
以上で MAP 画面の設定は終了です。 **Test001.xlsx** を上書き保存してください。

MAP	X	Y	W	H	LOCATION	LOCATION_NAME
1	7.36	16.45	25.63	17.11	LOC1	LOC1
1	59.14	38.16	25.63	20.72	LOC2	LOC2
1	9.39	69.08	29.19	19.08	LOC3	LOC3

**@CONFIG MAP**


## 12.4. プロジェクトの更新と表示


ビュー設定を行った Excel ファイルをプロジェクトで更新し、ビューアーで各画面を表示させます。



① Excel アドインアシスタントの設定-プロジェクト設定を開き、以下の設定を行ってください。


サーバー名 : localhost  
ユーザー名 : 001  
パスワード : 111

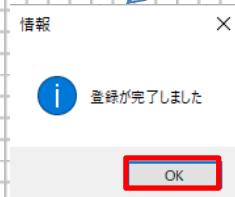
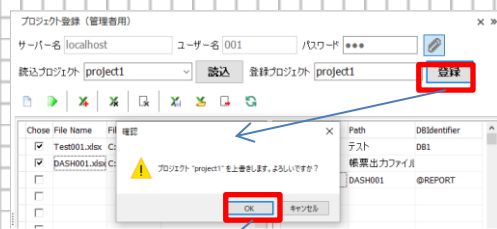
②  をクリックして接続してください。

※既に接続されている場合は、 をクリックして接続を解除したあと、再度接続を行ってください。

③ 読込プロジェクトのコンボボックスから「Project1」を選択し、「読込」をクリックすることで、プロジェクトが表示されます。

登録プロジェクトにも、「Project1」が設定されます。

④  をクリックして、Test001.xlsx の Datetime が更新されることを確認してください。



③プロジェクト名が「**Project1**」になっていることを確認し、「登録」をクリックしてください。

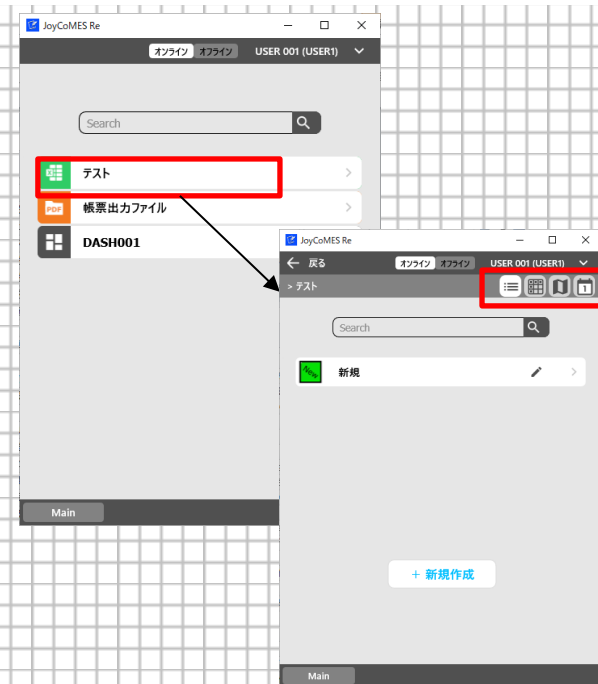
④上書き確認メッセージが表示されるため、「OK」をクリックしてください。

⑤「登録が完了しました」のメッセージが表示されるため、「OK」で終了してください。

以上で、プロジェクトの更新は終了です。





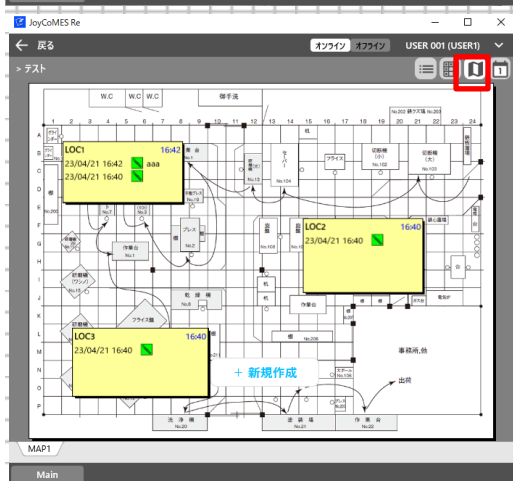
⑥JoyCoMESRe スタートメニューークライアントをクリックし、パスワードを設定して Project1 にログインします。




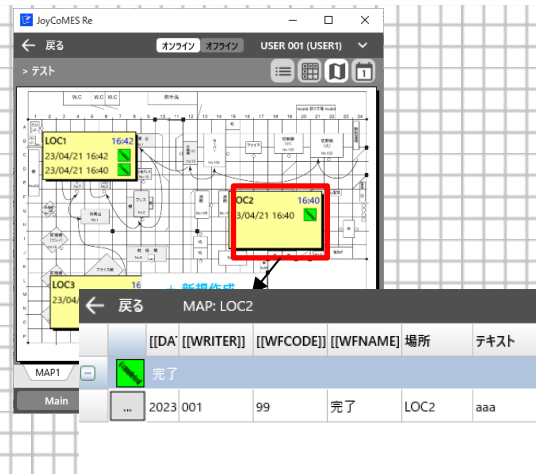
⑦テストをクリックしてください。

GRID、MAP、カレンダーの表示用ボタンが有効になります。

⑧  をクリックすることで、GRID 表示の画面になり、GRID 設定で設定した内容が表形式で表示されます。 をクリックすることで編集画面も表示できます。  
新規作成をクリックして新規データを入ると、そのデータも表示されます。

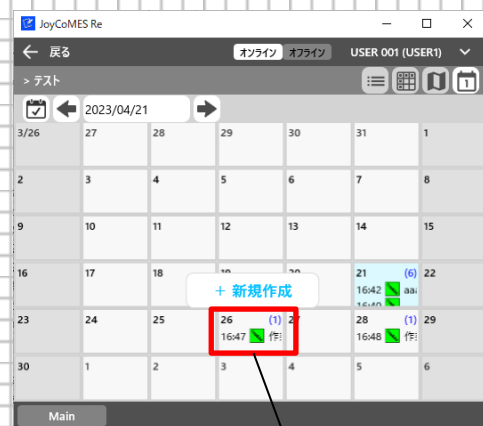


⑨  をクリックすることで、MAP 表示の画面になり、MAP 設定で設定した内容が表形式で表示されます。  
帳票の「場所」で指定したオブジェクトに、「表題」で指定した名称で登録されます。  
新規作成をクリックして新規データを入ると、そのデータも表示されます。



⑩オブジェクトをクリックすることで、詳細が表示されます。

...をクリックすることで編集画面も表示できます。



⑪📅をクリックすることで、カレンダー表示の画面になり、入力したデータ「表題」で設定した名称で、カレンダー形式で表示されます。

開始時間に未来の時間を設定することで、未来の入力設定を登録することも可能です。

新規作成をクリックして新規データを入ると、そのデータも表示されます。



⑫日付をクリックすることで、詳細が表示されます。

...をクリックすることで編集画面も表示できます。

## 13. 外部システム連携

JoyCoMES Re では、上位システムとの連携が可能です。

計画の取り込み

入力の結果の外部データベースへのエクスポート

詳細は、次の外部連携マニュアルを参照ください。

JoyCoMES Re 外部連携.pdf



## JoyCoMES Re Start Guide

2023 年 06 月 01 日 Ver5.0.0 版発行

※本書に関するご質問・お問い合わせについては下記までお願いいたします。

<https://eee.tokyo-gas.co.jp/lp/joy/contact/form.html>

パッケージの概要説明等、営業的なお問い合わせは「パッケージソフトに関する営業的なお問い合わせ」に。

具体的な設定手順等、技術的なお問い合わせは「パッケージソフトに関する技術的なお問い合わせ」にお送りください。

**技術的なお問い合わせに関しては、問い合わせ専用サイトを使用しております。**

ユーザー申請(無料)後、送られるメールから、問い合わせサイトのログイン情報を設定して、ログインいただければと思います。

※ユーザー申請からメールの送信までは、最大 1 営業日ほどお時間を頂く場合がございますので、あらかじめご承知おきください。